

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経 費 項 目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	静岡新聞データベース plus 日経テレコン利用料		
年 月 日	令和6年 6月 6 日 ~ 令和 年 月 日	金 額	57,200 円

目 的	調査研究など政務活動を行う為の情報収集手段					
使 途	令和6年 5月分 利用料 (2アカウント分)					
政務活動・ 県政との 関 連 性	調査研究の為の情報収集をし、政策や質問に生かしていく。					
《領収書貼付枠》 ’24.6.06 ←						
				払込受領証 (コンビニエンスストア用)		
				払込人氏名 自民改革会議 様		
				お客様コード [REDACTED]		
				金額 57200 円 内消費税 5200 円 受取人 日経メディアマーケティング株式会社 受領印  受領日附印 お客様控		

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	57,200 円	100%	57,200 円

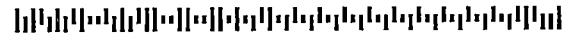
請求書

2024年06月01日

001/001

〒420-8601
静岡県
静岡市葵区追手町9-6

自民改革会議 様



002370 001/001 603AY1K002370#



ご請求番号	
お客様コード	
ご請求年月	2024年05月 ご利用代金
ご請求額	57,200 円

登録番号 T7010001025724

振込手数料は貴社にてご負担お願い申し上げます。

口座名 日経メディアマーケティング株式会社

振込先 三井住友銀行 東京中央支店 (当) 252732
三井住友銀行 京橋支店 (当) 6572717
みずほ銀行 堀町支店 (当) 0120986
三菱UFJ銀行 日本橋支店 (当) 9025980

〒100-8060
東京都千代田区大手町1-3-7
日経メディアマーケティング株式会社

お問い合わせ先：弊社ホームページのFAQをご参照、または下記担当まで
請求・入金室 kanri-o@nikkeimm.co.jp
静岡新聞社 054-284-9661

2024年05月 ご請求内訳

ご利用先名／ユーザーコード	月基本料	情報利用料	合計
政務調査事務所 静岡新聞データベースplus日経テレコン	26,000	0	26,000
政務調査事務所 静岡新聞データベースplus日経テレコン	26,000	0	26,000
項目計	52,000	0	52,000
合計(10%対象) 52,000 消費税	5,200	0	57,200



支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経 費 項 目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	新聞購読料 (静岡・読売・毎日・朝日・産経・中日・日経・木材)		
年 月 日	令和 6 年 5 月 27 日～ 令和 6 年 5 月 28 日	金 額	58,950 円

目 的	調査研究に関する情報収集
使 途	令和 6 年 5 月分 購読料
政務活動・ 県政との 関 連 性	政務活動の調査研究における情報資料

《領収書貼付枠》

領収証 (口座振替)

支店 01 区域 013 店路 075 Na 自民改革会議

振様

※は軽減税率対象です

品 名	部数	金額(円)	備 考	領収金額 (含消費税)
※朝日新聞朝刊	2	8,400		8,400 円
10%対象 0 8%対象 8,400		内消費税 0 内消費税 622		2024 年 05 月分 領収致しました。(引落日) 2024 年 05 月 27 日

静岡中央新聞販売店(株)

静岡市葵区竜南3丁目17-24

フリーダイヤル 0120-57-7700

TEL 054-295-7700

登録番号: T3080001023923

係

ご購読ありがとうございます。本証はご保存下さい。金額その他を訂正したものは無効です。

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	58,950 円	100%	58,950 円



〒420-0853
静岡県葵区
追手町
県庁本館
3F
自民改革会議

<金融機関口座振替済>
9-6
様

領収証

(21-06)【お客様照会番号】

24年 5月分

5-2

ご購入ありがとうございます。
ございます。

購読紙	数	金額
*毎日新聞 朝刊	2	8,400
*日経新聞 朝刊	1	4,800
*産経新聞 朝刊	2	7,800
合計	*****	*****

*軽減税率対象
取次店 八千代町
登録番号T7080001000654
24年 5月 27日
文字訂正印,領収印無きは無効



〒420-0853
静岡県葵区
追手町
県庁本館
3F
自民改革会議

<金融機関口座振替済>

9-6

様

領収証

(21-06)【お客様照会番号】

24年 5月分

ご購入ありがとうございます。
ございます。

購読紙	数	金額
*日刊木材新聞	1	6,750
*静岡新聞	2	6,600
合計 [税込]		¥34,350

(8%税抜対象額 31,806 消費税 2,544)

*軽減税率対象
取次店 八千代町
登録番号T7080001000654
24年 5月 27日
文字訂正印,領収印無きは無効



読売新聞 領収書

区域113 全戸0057
登録番号 T4040001007854

お問合せNo

2024年5月27日
2231代
-2083

お名前 自民改革会議 様
静岡県庁東館東12-2-12-3

06年 5月分 振替

銘柄	部数	金額
1 読売新聞朝刊 *	2	7,400
2		
3		
合計		7,400円

※は軽減税率 (10.0%対象 0円 消費税 0円)
(8.0%対象 7,400円 消費税 548円)

◇左記の通り領収しました

領収日 年 月 日



読売センター静岡県庁前
株式会社 よみうりエコー
静岡県静岡市葵区駒形通3-3-3
TEL 054(252)0441



印面もあわせて
十分ご注意ください



領収証

追手町 9-6 本館3階

2024年 5月分

お問合せNo

(519) 5.00円振

(8%対象 8,800 税 651)

(10%対象 0 税 0)

自民改革会議 様

銘柄名(*は軽減税率対象)	部数	金額	備考
*中日朝夕刊セット	2	8,800	

合計金額

8,800円

古紙回収ご希望の方はご連絡ください。

株式会社 静岡中日サービス
登録番号 T9080001011146



支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経 費 項 目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	コピー機リース代 5 月分（大部屋奥・大部屋入口・役員室・政調 4 台分）		
年 月 日	令和6年 5 月 7 日 ~ 令和 年 月 日	金 額	70,108 円

目 的	_____
使 途	_____
政務活動・ 県政との 関 連 性	_____
《領収書貼付枠》 コピー機リース代 5 月分（大部屋奥 1 台分） ￥15,768 〃 5 月分（大部屋入口・役員室・政調 3 台分） ￥54,340	

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	70,108 円	100%	70,108 円

5-3

自民改革会議 御中

発行日 2024 年 05 月 09 日

領収証番号

リコーリース株式

東京都港区東新橋1丁目5番2号

領 収 証

毎々格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
下記金額を正に領収させていただきましたこと、お知らせ申し上げます。

領 収 日	2024 年 5 月 7 日
領 収 額	70,108 円

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

お 支 払 方 法	口座振替
振 替 口 座	座番号の下3桁は、お客様情報保護のため「***」と表示しています。 シ"ミンカイカクカイキ" タ"イヒヨウ マスタ"タカヒロ

領収明細書

契 約 番 号	請 求 期 間	回 数	金 額	消 費 税 等
	24. 5. 1~24. 5. 31	57	14,600	1,168
	24. 5. 1~24. 5. 31	38	49,400	4,940

続きは裏面をご覧ください。

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	自民改革会議ホームページ更新費用		
年 月 日	令和6年 5月 31日 ~ 令和 年 月 日	金 額	24,530 円

目 的	県政に係る情報等を県民に報告
使 途	令和6年5月分 更新料
政務活動・ 県政との 関 連 性	県の施策、議会での発言内容、政務活動状況などを掲載し、情報を広く伝える とともに意見を聴取し、県政に反映させる。
《領収書貼付枠》 振込手数料 330 円 24,200 円+330 円=24,530 円	

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	24,530 円	100%	24,530 円

処理日時 2024年05月28日 09時52分35秒

■取引情報

取引ID	240528000057986
受付番号	0528002
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 05月31日
取引名	05月28日作成分
振込メッセージ	—

■振込元情報

支払口座	
------	--

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	ささがせ支店 (374) 普通 0480639
受取人名	イマクロデザイン コケトシロ
登録名	イマクロデザイン

■振込金額

入金金額	57,200円
税込手数料	330円
引落合計金額	57,530円

5-4
5-5
合算

■依頼者情報

依頼者	
依頼日	2024年05月28日

■承認者情報

承認者	
承認期限	2024年05月31日
承認日時	2024年05月28日 09時52分
コメント	会派HP更新費用 (R6. 5月分) 政務活動費管理システム保守サポート費用 (R6. 5月分)

振込依頼を受付けました。
振込依頼は 5月31日扱いです。

NO. 202405-04
2024 年 5 月 25 日

御 請 求 書

5-4
5-5

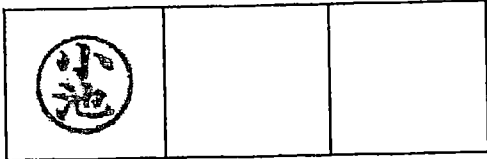
自民改革会議 様

Imacro Design
イマクロデザイン
〒435-0006 静岡県浜松市中央区下石田町136
TEL 053-422-7017
登録番号 T9810734041087

担当者 小池 敏彦

下記の通り、ご請求申し上げます。

合計金額 **¥57,200**



品 名	数 量	単 価	金 額	備 考
自民改革会議様ホームページ				
2024年5月分サーバーレンタル・更新管理費	1 式	22,000	22,000	
政務活動費管理システム				
2024年5月分保守サポート費用	1 式	30,000	30,000	
合計(税無)			¥52,000	
消費税(10%)			¥5,200	
総計(税込)			¥57,200	

備考:

振込先: 静岡銀行さがせ支店 (普) 0480639 イマクロデザイン 小池敏彦

5-4

領収書

2024年5月31日

自民改革会議 様

Macro Design
〒435-0006 静岡県浜松市中央区下石田町136
TEL 053-422-7017 担当者 小池敏彦

登録番号 T9810734041087

下記の通り領収いたしました。

合計金額 ¥24,200 (内消費税 ¥2,200)

収入

印紙

(以下明細)

商品名	単価	数量	金額
2024年5月分更新費用、サーバレンタル費用	22,000	1	¥22,000

税抜合計金額 ¥22,000

内消費税額(10%) ¥2,200

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	政務活動費管理システム保守サポート費用 5 月分		
年 月 日	令和6年 5月 31日 ~ 令和 年 月 日	金 額	33,000 円

目 的	_____
使 途	_____
政務活動・ 県政との 関 連 性	_____
《領収書貼付枠》	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動		／	
	33,000 円	100%	33,000 円

5-5

領収書

2024年5月31日

自民改革会議 様

Macro Design 
〒435-0006 静岡県浜松市中央区下石田町136
TEL 053-422-7017 担当者 小池敏彦

下記の通り領収いたしました。

登録番号 T9810734041087

合計金額 ￥33,000 (内消費税 ￥3,000)

収入

印紙

(以下明細)

商品名	単価	数量	金額
2024年5月分 政務活動費管理システム保守サポート費用	30,000	1	¥30,000

税抜合計金額 ￥30,000

内消費税額(10%) ￥3,000

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経 費 項 目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	ゴム印 (会派代表名)		
年 月 日	令和 6 年 5 月 9 日 ~ 令和 年 月 日	金 額	330 円

目 的	_____
使 途	_____
政務活動・ 県政との 関 連 性	_____

《領収書貼付枠》

~~~~~ 領 収 証 ~~~~~

令和 6 年 5 月 9 日

自民改革会議 様

¥ 330-

但 ゴム印代  
上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額 300

消費税額 (0%)



登録番号 T1810985286099

| 案分の理由  | 領収書金額(a) | 案分率(b) | 政務活動費支出額(a×b) |
|--------|----------|--------|---------------|
| 全て政務活動 | 330 円    | /      | 330 円         |
|        |          | 100%   |               |

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局 )

|       |                                                      |     |       |
|-------|------------------------------------------------------|-----|-------|
| 経費項目  | 調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費 |     |       |
| 内 容   | 郵送料 2 通分                                             |     |       |
| 年 月 日 | 令和6年 5月 17日 ~ 令和 年 月 日                               | 金 額 | 240 円 |

|                        |       |
|------------------------|-------|
| 目 的                    | _____ |
| 使 途                    | _____ |
| 政務活動・<br>県政との<br>関 連 性 | _____ |

《領収書貼付枠》

領収書

自民改革会議 様

[証紙切手引受]

第一種定形外(規格内)

50.0g

¥120

@120

1通

小 計

¥120

第一種定形外(規格内)

34.0g

¥120

@120

1通

小 計

¥120

郵便物引受合計通数

2通

¥240

課税計(10%)

¥21

(内消費税等(10%))

非課税計

¥0

合計

¥240

お預り金額

¥1,000

おつり

¥760



〒100-8792 日本郵便株式会社  
東京都千代田区大手町2-3-1  
登録番号 T1010001112577  
取扱日時 : 2024年 5月17日 12:55  
発行No. 240517A4650 端N68箱70  
連絡先 : 静岡県庁内郵便局  
TEL: 054-254-9810

| 案分の理由  | 領収書金額(a) | 案分率(b) | 政務活動費支出額(a×b) |
|--------|----------|--------|---------------|
| 全て政務活動 | 240 円    | 100%   | 240 円         |

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局 )

|         |                                                       |     |         |
|---------|-------------------------------------------------------|-----|---------|
| 経 費 項 目 | 調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費 |     |         |
| 内 容     | プロバイダー料 5月分                                           |     |         |
| 年 月 日   | 令和6年5月31日 ～ 令和年 月 日                                   | 金 額 | 3,850 円 |

|                                                    |       |
|----------------------------------------------------|-------|
| 目 的                                                | _____ |
| 使 途                                                | _____ |
| 政務活動・<br>県政との<br>関 連 性                             | _____ |
| <p>＜領収書貼付枠＞</p> <p>3,520 円+振込手数料 330 円=3,850 円</p> |       |

| 案分の理由<br>全て政務活動 | 領収書金額(a) | 案分率(b) | 政務活動費支出額(a×b) |
|-----------------|----------|--------|---------------|
|                 | 3,850 円  | 100%   | 3,850 円       |

処理日時 2024年05月28日 09時48分53秒

5-8

■取引情報

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 取引ID    | 240528000055920 |
| 受付番号    | 0528001         |
| 取引種別    | 振込振替            |
| 振込指定日   | 指定日 05月31日      |
| 取引名     | 05月28日作成分       |
| 振込メッセージ | -               |

■振込元情報

|      |  |
|------|--|
| 支払口座 |  |
|------|--|

■振込先口座

|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 振込先金融機関 | 静岡銀行 (0149)           |
| 振込先口座   | 草薙支店 (147) 普通 0645922 |
| 受取人名    | かトちゃんねるカ              |
| 登録名     | (株)トコちゃんねる静岡          |

■振込金額

|        |        |
|--------|--------|
| 入金金額   | 3,520円 |
| 税込手数料  | 330円   |
| 引落合計金額 | 3,850円 |

■依頼者情報

|     |             |
|-----|-------------|
| 依頼者 |             |
| 依頼日 | 2024年05月28日 |

■承認者情報

|      |                    |
|------|--------------------|
| 承認者  |                    |
| 承認期限 | 2024年05月31日        |
| 承認日時 | 2024年05月28日 09時48分 |
| コメント | プロバイダー料金 (R6.5月分)  |

振込依頼を受けました。  
振込依頼は 5月31日扱いです。

〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6

自民改革会議 御中

適格請求書発行事業者登録番号 T1080001002664



5-8

## 請 求 書

自民改革会議 御中

下記の通り御請求申し上げます。

請求金額

¥3,520 -

請求No. 2024050060

2024年5月10日

〒424-0888 静岡市清水区里之郷2-1-5  
株式会社 トコちゃんねる静岡

TEL054-347-9811 (担当)

| 摘 要                           | 数 量 | 単 位 | 単 価    | 金 額    |
|-------------------------------|-----|-----|--------|--------|
| ひかりファミリー集コース(月払)<br>2024年05月分 | 2   | ID  | ¥1,600 | ¥3,200 |
| 小 計                           |     |     |        | ¥3,200 |
| 消 費 税 ( 10 % )                |     |     |        | ¥320   |
| 合 計                           |     |     |        | ¥3,520 |

お支払いは下記銀行弊社口座へ2024年6月 末迄にお振り込み下さい。

静岡銀行 草薙支店

口座番号 普通口座 No. 0645922

口座名義 株式会社トコちゃんねる静岡

※振込手数料につきましては、貴社負担にてお願いいたします。

## 支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局 )

|       |                                                      |     |         |
|-------|------------------------------------------------------|-----|---------|
| 経費項目  | 調査研究費・研修費・広報広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費 |     |         |
| 内 容   | 静岡銀行 Web・PCバンキング利用料、データ伝送利用料 5月分                     |     |         |
| 年 月 日 | 令和6年 6月 17日～ 令和 年 月 日                                | 金 額 | 5,500 円 |

|                        |       |
|------------------------|-------|
| 目 的                    | _____ |
| 使 途                    | _____ |
| 政務活動・<br>県政との<br>関 連 性 | _____ |

《領収書貼付枠》

| 案分の理由  | 領収書金額(a) | 案分率(b) | 政務活動費支出額(a×b) |
|--------|----------|--------|---------------|
| 全て政務活動 | 5,500 円  | /      | 5,500 円       |
|        |          | 100%   |               |

令和 6年 6月 17日

4 2 0 - 8 6 0 1

# 領収書

静岡市葵区 追手町 9-6

5-9

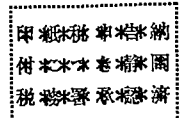
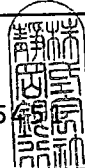
静岡県議会  
自民改革会議 様

毎度お引き立てにあずかりありがとうございます。  
下記のとおり、各種手数料をご指定の預金口座より引き落としさせていただきました。

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 令和 6年 5月分 | 振替日 令和 6年 6月 17日 |
|-----------|------------------|

| 手数料種類              | 領収金額 (円)                                | ご指定預金口座 |      |      |
|--------------------|-----------------------------------------|---------|------|------|
|                    |                                         | 支店名     | 預金種類 | 口座番号 |
| WEB-PCバンキングサービス基本料 | 1,650                                   |         |      |      |
| データ伝送サービス基本料・利用料   | 3,850                                   |         |      |      |
|                    |                                         |         |      |      |
|                    |                                         |         |      |      |
|                    |                                         |         |      |      |
|                    |                                         |         |      |      |
|                    |                                         |         |      |      |
|                    |                                         |         |      |      |
|                    |                                         |         |      |      |
|                    |                                         |         |      |      |
|                    |                                         |         |      |      |
|                    |                                         |         |      |      |
|                    |                                         |         |      |      |
| 合 計                | 5,500<br>内、税抜金額<br>5,000<br>消費税等<br>500 |         |      |      |

発行者 静岡市葵区 追手町 9-6  
株式会社 静岡銀行 県庁支店  
電話番号 054-254-5444



## 《重要》

本領収書は、2024年5月取引分をもちまして廃止させていただきます（既にインボイス領収書を受け取られている方は、インボイスに統合させていただきます）。  
現在、インボイスを受け取られていないお客さまで、新たに発行を希望される方は、お取引店までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

TWBM2011 (T067)

0238

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局 )

|       |                                                       |     |         |
|-------|-------------------------------------------------------|-----|---------|
| 経費項目  | 調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費 |     |         |
| 内 容   | 電話料 3 月分                                              |     |         |
| 年 月 日 | 令和 6 年 5 月 28 日～ 令和 年 月 日                             | 金 額 | 7,014 円 |

|                        |       |
|------------------------|-------|
| 目 的                    | _____ |
| 使 途                    | _____ |
| 政務活動・<br>県政との<br>関 連 性 | _____ |

※納付場所等は裏面を御覧下さい。

静岡県 納入通知書兼領収書

420-8601  
静岡県静岡市葵区追手町  
9-6  
自民改革会議 代表 相坂 摂治  
(電話料金) 様

|            |            |      |                           |
|------------|------------|------|---------------------------|
| 年 度        | 令和 6 年度    | 会計科目 | 会計 01 款 14 項 07 目 02 節 08 |
| 収納票<br>番 号 | 22000      | 納付番号 | 24000 01011 01000 11699   |
| 調定番号       | 2400379- 1 | 確認番号 | 061315 納付区分 315           |
| 金 額        | 7,014 円    | 納期限  | 令和 6 年 5 月 30 日           |

商民名 (連絡先) 経営管理部 総務課

ただし 県庁舎管理費負担金  
NTT 電話使用料 (令和 6 年 3 月分)

上記の金額を納期限までに納めてください。

令和 6 年 5 月 17 日  
静岡県知事職務代理者  
静岡県副知事

静岡県指定代理金融機関  
収納代理

上記の金額を領収しました。

領収書  
出納済  
6. 5. 28  
静岡銀行  
県 庁

ゆうちょ銀行・郵便局の窓口又は ATM でお支払いの場合は、左側に印をお出しください。

|                 |          |        |               |
|-----------------|----------|--------|---------------|
| 案分の理由<br>全て政務活動 | 領収書金額(a) | 案分率(b) | 政務活動費支出額(a×b) |
|                 | 7,014 円  | 100%   | 7,014 円       |

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局 )

|       |                                                       |     |          |
|-------|-------------------------------------------------------|-----|----------|
| 経費項目  | 調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費 |     |          |
| 内 容   | 事務用品購入料 5月分                                           |     |          |
| 年 月 日 | 令和6年 5月 31日 ~ 令和 年 月 日                                | 金 額 | 11,510 円 |

|                                                          |       |
|----------------------------------------------------------|-------|
| 目 的                                                      | _____ |
| 使 途                                                      | _____ |
| 政務活動・<br>県政との<br>関 連 性                                   | _____ |
| <p>《領収書貼付枠》</p> <p>11,180 円+330 円 (振込手数料) = 11,510 円</p> |       |

| 案分の理由<br>全て政務活動 | 領収書金額(a) | 案分率(b) | 政務活動費支出額(a×b) |
|-----------------|----------|--------|---------------|
|                 | 11,510 円 | 100%   | 11,510 円      |

No. 45447.38544

# 領 収 証

電子領収書に  
つき印紙不要自民改革会議 様

金額

¥11,180

係 印

但 文具代

上記金額正に領収致しました

日付 2024年5月31日

内 訳

|                                     |     |   |
|-------------------------------------|-----|---|
| <input type="checkbox"/>            | 現 金 | 円 |
| <input type="checkbox"/>            | 小切手 | 円 |
| <input type="checkbox"/>            | 手 形 | 円 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 振 込 | 円 |
| <input type="checkbox"/>            | 相 殺 | 円 |

オフィス用品専門店  
株式会社 島 村 隆 文 堂  
代表取締役 島 村 隆 武 慶  
静岡県藤枝市田沼1丁目15-8  
TEL (054) 6 3 5-1 3 0 5(代)  
FAX (054) 6 3 5-1 3 0 9

処理日時 2024年05月28日 09時54分21秒

5-11

■取引情報

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 取引ID    | 240528000060740 |
| 受付番号    | 0528003         |
| 取引種別    | 振込振替            |
| 振込指定日   | 指定日 05月31日      |
| 取引名     | 05月28日作成分       |
| 振込メッセージ | —               |

■振込元情報

|      |  |
|------|--|
| 支払口座 |  |
|------|--|

■振込先口座

|         |                        |
|---------|------------------------|
| 振込先金融機関 | 静岡銀行 (0149)            |
| 振込先口座   | 藤枝駅支店 (166) 普通 0128539 |
| 受取人名    | カ)シマトリブントウ             |
| 登録名     | (株)島村膳文堂               |

■振込金額

|        |         |
|--------|---------|
| 入金金額   | 11,180円 |
| 税込手数料  | 330円    |
| 引落合計金額 | 11,510円 |

■依頼者情報

|     |             |
|-----|-------------|
| 依頼者 |             |
| 依頼日 | 2024年05月28日 |

■承認者情報

|      |                    |
|------|--------------------|
| 承認者  |                    |
| 承認期限 | 2024年05月31日        |
| 承認日時 | 2024年05月28日 09時54分 |
| コメント | 文房具 (R6. 5/20 〆切分) |

振込依頼を受けました。  
振込依頼は 5月31日扱いです。

900231 1/1

NY 420-0853

株式会社 島村騰文堂

静岡県静岡市葵区追手町9-6

登録番号 T6080001016445

NY 426-0061

自民改革会議

静岡県藤枝市田沼1丁目15番8号

御中

TEL: 054-635-1305

FAX: 054-635-1309

TEL:

FAX:

当月ご請求金額 11,180 円

軽減税率(8%)対象商品は商品名の頭に「※」がつきます。

[illegible]

smartofficeのご利用ありがとうございました。

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局 )

|       |                                                       |     |           |
|-------|-------------------------------------------------------|-----|-----------|
| 経費項目  | 調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費 |     |           |
| 内 容   | コピーカウント料 5/20 検針分                                     |     |           |
| 年 月 日 | 令和 6年 6月 20日～ 令和 年 月 日                                | 金 額 | 130,222 円 |

|                        |               |    |              |            |        |     |
|------------------------|---------------|----|--------------|------------|--------|-----|
| 目 的                    | 資料等のコピー       |    |              |            |        |     |
| 使 途                    | 令和6年5月分 カウント料 |    |              |            |        |     |
| 政務活動・<br>県政との<br>関 連 性 | 政務活動に関する資料作成  |    |              |            |        |     |
| 《領収書貼付枠》               |               |    |              |            |        |     |
|                        | 年 月 日         | 記号 | お支払い金額       | お預かり金額     | 差し引き残高 | 備 考 |
|                        | 1 06-06-20    | BF | 5月分 *130,222 | RL)リコーファハツ |        |     |
|                        | 2             |    |              |            |        |     |
|                        | 3             |    |              |            |        |     |
|                        | 4             |    |              |            |        |     |
|                        | 5             |    |              |            |        |     |
|                        | 6             |    |              |            |        |     |
|                        | 7             |    |              |            |        |     |
|                        | 8             |    |              |            |        |     |
|                        | 9             |    |              |            |        |     |
|                        | 10            |    |              |            |        |     |
|                        | 11            |    |              |            |        |     |
|                        | 12            |    |              |            |        |     |

|                 |           |        |               |
|-----------------|-----------|--------|---------------|
| 案分の理由<br>全て政務活動 | 領収書金額(a)  | 案分率(b) | 政務活動費支出額(a×b) |
|                 | 130,222 円 | 100%   | 130,222 円     |

5-12

RICOH

発行日 2024年 6月27日

領収証No. BA1140

## 領収証

自民改革会議 様

いつもリコー商品をご愛顧いただきましてありがとうございます。  
2024年 6月20日にお支払いいただきました代金の領収証を  
お送りいたしますのでご査収ください。

領収種別 自振

金額

¥130,222

但し、商品代として

印紙税申告納  
付につき大森  
税務署承認済

リコージャパン株式会社  
東京都大田区中馬込一丁目3番6号

(お問合わせ)

部 門 請求書お問い合わせ窓口

TEL 0120-138-970

※当社ではこのフォームでの領収証には、黒色の印鑑を使用しております。  
※金額等を訂正したものは無効とします。  
※再発行は出来ませんので、大切に保管願います。  
※入金取消し等の連絡があった場合、本領収証は無効となります。

ご 請 求 書  
( 兼 振替予定金額のお知らせ )

RICOH

420-8601  
静岡県静岡市葵区追手町  
9-6 静岡県庁本館3F

自民改革会議 様

ページ:0001/0003

発行日2024年05月20日 請求No. 24059735622

リコージャパン株式会社

登録番号:T1010001110829

お問い合わせ 請求書お問い合わせ窓口

吹田市江の木町34-5



520AKA1003815# 005990 0001/0003

5-1/2

TEL:0120-138-970 5010315 50100152

※電話番号のお掛け間違いにご注意ください

お客様コード

下記の通りご請求申し上げます。

2024年05月20日締分 振替口座は右記の通りです。

今回ご請求金額(税込) 130,222 円

2024年06月20日に上記金額を振替させていただきます。

【お取引明細】

| 月日    | 商 品 名                    | 伝票No.                   | 数 量       | 単 価 | お買上金額<br>[税抜] | 消費税金額 |
|-------|--------------------------|-------------------------|-----------|-----|---------------|-------|
| 04.26 | RICOH MP Pトナー ブラック C3503 | 670138                  | 1         | 0   | 0             | -     |
|       |                          | ご発注No・備考<br>設置先: 自民改革会議 |           |     |               |       |
| 05.20 | IMC3000 パフォーマンスチャージ      | 785001                  |           |     | 3,900         | -     |
|       |                          | 05/10 シメ                |           |     |               |       |
| 05.20 | IMC3000 パフォーマンスチャージ      | 785002                  |           |     | 23,185        | -     |
|       |                          | 05/10 シメ                |           |     |               |       |
| 05.20 | IMC3500 パフォーマンスチャージ      | 785003                  |           |     | 11,196        | -     |
|       |                          | 05/10 シメ                |           |     |               |       |
| 05.20 | IMC3500 パフォーマンスチャージ      | 785004                  |           |     | 80,103        | -     |
|       |                          | 05/10 シメ                |           |     |               |       |
|       | お買上金額 合計                 | ( 税込                    | 130,222 ) |     | 118,384       | 11,83 |
|       | 10%対象                    | ( 税込                    | 130,222 ) |     | 118,384       | 11,83 |

【お知らせ】

お問合せの際は、請求書右上の請求Noをお伝え下さい。お振込の場合は手数料ご負担をお願い致します。手数料不要の口座引落もご用意しております。

■サービス料金計算明細【控え】

<伝票No 785001 >  
・トナー込み契約です。

IMC3000

機番: 624150

モノカラー総出力

フルカラー総出力 ①

フルカラーコピー (①-②)

フルカラープリント ②

今回検針内容

5月10日

12,107 枚

7,644 枚

1,842 枚

5,802 枚

前回検針内容

4月10日

12,001 枚

7,589 枚

1,815 枚

5,774 枚

ご使用カウント

106 枚

55 枚

27 枚

28 枚

パフォーマンスチャージ

基本料金

合計(税抜き)

単価/金額

3,900円

カウント/月/率

1ヶ月

内訳金額

3,900円

3,900円

<伝票No 785002 >  
・トナー込み契約です。

設置先名: 自民改革会議

IMC3000

機番: 658066

モノカラー総出力

フルカラー総出力 ①

フルカラーコピー (①-②)

フルカラープリント ②

今回検針内容

5月10日

98,865 枚

15,690 枚

11,578 枚

4,112 枚

前回検針内容

4月10日

95,428 枚

14,637 枚

10,603 枚

4,034 枚

ご使用カウント

3,437 枚

1,053 枚

975 枚

78 枚

## 404 カウント

## 80,103円

支 出 証 拠 書

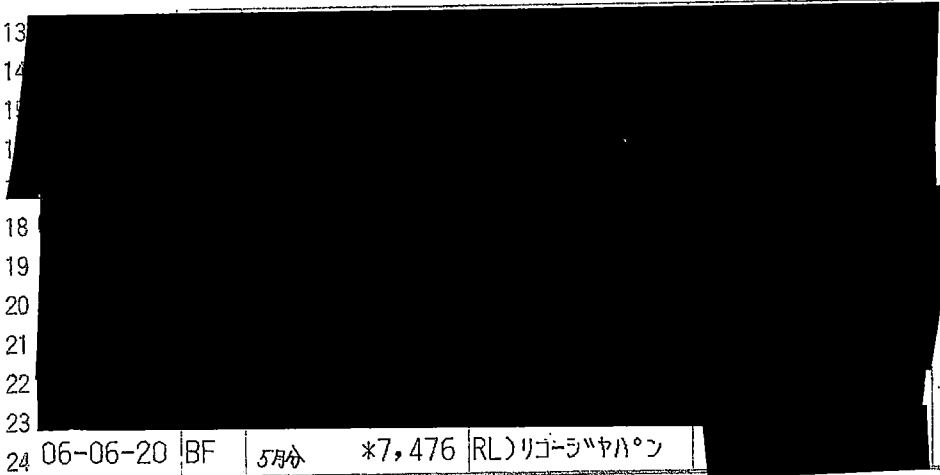
(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局 )

|         |                                                       |     |         |
|---------|-------------------------------------------------------|-----|---------|
| 経 費 項 目 | 調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費 |     |         |
| 内 容     | 事務用品購入代 (コピー用紙代)                                      |     |         |
| 年 月 日   | 令和6年 6月 20日 ~ 令和 年 月 日                                | 金 額 | 7,476 円 |

|                        |       |
|------------------------|-------|
| 目 的                    | _____ |
| 使 途                    | _____ |
| 政務活動・<br>県政との<br>関 連 性 | _____ |

《領収書貼付枠》

13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24



06-06-20 BF 5月分 \*7,476 (RL)リコーシャハポン

| 案分の理由<br>全て政務活動 | 領収書金額(a) | 案分率(b) | 政務活動費支出額(a×b) |
|-----------------|----------|--------|---------------|
|                 | 7,476 円  | 100%   | 7,476 円       |

5-13

RICOH

発行日 2024年 6月27日

領収証No. BA1141

## 領収証

自民改革会議 様

いつもリコー商品をご愛顧いただきましてありがとうございます。  
2024年 6月20日にお支払いいただきました代金の領収証を  
お送りいたしますのでご査収ください。

領収種別 自振

金額

¥7,476

但し、商品代として

印紙税申告納  
付につき大森  
税務署承認済

リコージャパン株式会社  
東京都大田区中馬込一丁目16番6号

(お問合わせ)  
部 門 請求書お問い合わせ窓口  
TEL 0120-138-970

※当社ではこのフォームでの領収証には、黒色の印鑑を使用しております。  
※金額等を訂正したものは無効とします。  
※再発行は出来ませんので、大切に保管願います。  
※入金取消し等の連絡があった場合、本領収証は無効となります。

ご 請 求 書  
( 兼 振替予定金額のお知らせ )

RICOH

420-8601

静岡県静岡市葵区追手町

9-6 静岡県庁 本館 3階

自民改革会議 様

ページ:0001/0001

発行日2024年05月20日 請求No. 24059735623

リコージャパン株式会社

登録番号:T1010001110829

お問い合わせ 請求書お問い合わせ窓口

吹田市江の木町34-5



520AKA1000371# 000371 0001/0001

5-13

TEL:0120-138-970 5010315 50100152

※電話番号のお掛け間違いにご注意ください

お客様コード

下記の通りご請求申し上げます。

2024年05月20日締分 振替口座は右記の通りです。

今回ご請求金額(税込) 7,476 円

2024年06月20日に上記金額を振替させていただきます。

【お取引明細】

| 月 日   | 商 品 名                   | 伝票No.       | 数 量   | 単 価   | お買上金額<br>[税抜] | 消費税金額 |
|-------|-------------------------|-------------|-------|-------|---------------|-------|
|       |                         | ご発注No.・備考   |       |       |               |       |
| 05.07 | LB WHITE A3T 500X3 ケース  | N33788      | 1     | 2,646 | 2,646         | —     |
|       |                         | 設置先: 自民改革会議 |       |       |               |       |
| 05.07 | LB WHITE A4T 500X10 ケース | N33789      | 1     | 4,151 | 4,151         | —     |
|       |                         | 設置先: 自民改革会議 |       |       |               |       |
|       | お買上金額 合計                | (税込)        | 7,476 |       | 6,797         | 679   |
|       | 10%対象                   | (税込)        | 7,476 |       | 6,797         | 679   |

【お知らせ】

お問合せの際は、請求書右上の請求Noをお伝え下さい。お振込の場合は手数料ご負担をお願い致します。手数料不要の口座引落もご用意しております。



令和 6年 5月分給与

明細書

自民改革会議

氏 名 様  
所 属

支給日 令和 6年 5月31日

受領印

5-14

| 勤 務 状 況 |       | 支 給 内 容 |         | 控 除    |        | そ の 他     |         |
|---------|-------|---------|---------|--------|--------|-----------|---------|
| 所定就労日   | 21.00 | 基本給(月給) | 250,000 | 健康保険料  | 12,805 | 年末調整還付    | 0       |
|         |       |         |         | 介護保険料  | 2,080  | 年末調整徴収    | 0       |
|         |       | 非課税通勤費  | 7,980   | 厚生年金保険 | 23,790 |           |         |
|         |       | 前月修正    | 0       | 社保料調整  | 0      |           |         |
|         |       |         |         | 雇用保険料  | 1,548  | 合 計       | 0       |
|         |       |         |         | 所得税    | 5,130  | 差引支給額     | 201,727 |
|         |       |         |         | 住民税    | 10,900 |           |         |
|         |       |         |         |        |        | 振 込 支 給 額 |         |
|         |       |         |         |        |        |           |         |
|         |       |         |         |        |        | 合 計       | 201,727 |
|         |       |         |         |        |        | 現金支給額     | 0       |
|         |       |         |         |        |        | 現物支給額     | 0       |
|         |       |         |         |        |        | 基本保険料     | 7,683   |
|         |       |         |         |        |        | 特定保険料     | 5,122   |
|         |       |         |         |        |        | 社会保険料計    | 40,223  |
| 税 額 表   | 甲欄    |         |         | 合 計    | 56,253 |           |         |
| 扶 養 人 数 | 0     | 合 計     | 257,980 |        |        |           |         |

令和 6年 5月分給与

明細書

自民改革会議

氏 名 様  
所 属

支給日 令和 6年 5月31日

受領印

| 勤 務 状 況 |       | 支 給 内 容 |         | 控 除    |        | そ の 他     |         |
|---------|-------|---------|---------|--------|--------|-----------|---------|
| 所定就労日   | 21.00 | 基本給(月給) | 215,000 | 健康保険料  | 10,835 | 年末調整還付    | 0       |
|         |       |         |         | 介護保険料  | 1,760  | 年末調整徴収    | 0       |
|         |       | 非課税通勤費  | 4,200   | 厚生年金保険 | 20,130 |           |         |
|         |       | 前月修正    | 0       | 社保料調整  | 0      |           |         |
|         |       |         |         | 雇用保険料  | 1,315  | 合 計       | 0       |
|         |       |         |         | 所得税    | 4,050  | 差引支給額     | 176,310 |
|         |       |         |         | 住民税    | 4,800  |           |         |
|         |       |         |         |        |        | 振 込 支 給 額 |         |
|         |       |         |         |        |        |           |         |
|         |       |         |         |        |        | 合 計       | 176,310 |
|         |       |         |         |        |        | 現金支給額     | 0       |
|         |       |         |         |        |        | 現物支給額     | 0       |
|         |       |         |         |        |        | 基本保険料     | 6,501   |
|         |       |         |         |        |        | 特定保険料     | 4,334   |
|         |       |         |         |        |        | 社会保険料計    | 34,040  |
| 税 額 表   | 甲欄    |         |         | 合 計    | 42,890 |           |         |
| 扶 養 人 数 | 0     | 合 計     | 219,200 |        |        |           |         |

@477,180

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局 )

|       |                                                     |     |          |
|-------|-----------------------------------------------------|-----|----------|
| 経費項目  | 調査研究費・研修費・広報広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費 |     |          |
| 内 容   | 社会保険料事業主負担分 4月分                                     |     |          |
| 年 月 日 | 令和6年 5月 31日 ~ 令和 年 月 日                              | 金 額 | 73,128 円 |

|                        |       |
|------------------------|-------|
| 目 的                    | _____ |
| 使 途                    | _____ |
| 政務活動・<br>県政との<br>関 連 性 | _____ |

《領収書貼付枠》

納入告知書 納付書\* 領収証書

国庫金

厚生保険

年度 令和6年  
年金特別会計 内閣府及び厚生労働省所管 取組庁番号 00064145

厚生労働省年金局(静岡)



納付  
目的  
年月  
令和 6年  
4月分

納付  
期限  
令和 6年  
5月31日

健康 勘 定  
健康 保 険 料  
54960 円

厚生 年金 勘 定  
厚生 年金 保 険 料  
87840 円

子ども・子育て支援勘定  
子ども・子育て拠出金  
1728 円

納付目的  
健康保険料  
厚生年金保険料  
子ども・子育て拠出金  
令和 6年度

事業所整理記号 事業所番号 うち証券受領  
005001224390100002988950179  
収納機関番号 納付番号 確認番号

証券受領  
全 部 一 部

合 計 額  
千 百 十 億 千 百 十 万 千 百 十 円  
¥ 1 4 4 5 2 8

内閣府及び厚生労働省所管  
年金特別会計

納付場所 日本銀行本店、支店、代理店、歳入代理店又は日本年金機構  
静岡 年金事務所  
延滞金の 期限内に完納されなかったときは、延滞金の納付を要します。  
計算方法 (健康保険法第181条、同法附則第9条、厚生年金保険法第87条、  
同法附則第17条の14、子ども・子育て支援法第71条)  
弁済の充当の順序は、元本に充て、次いで延滞金に充てる。  
歳入徴収官 厚生労働省年金局事業管理課長

420-8601 静岡市 葵区 追手町  
9-6  
自民改革会議  
様

上記の合計額を領収しました。  
(領収日付等)  
出納済  
6. 5. 31  
静岡銀行  
県庁  
(納付者並び)

年金事務所の窓口以外で、日本年金機構の協力がこの領収証書により領収することはできません。  
この納入告知書(納付書)はPay-easy(ペイジー)対応のATM、インターネットバンキング等を利用して納付することができます。

翌年度5月1日以降現年度歳入組入

| 案分の理由  | 領収書金額(a) | 案分率(b) | 政務活動費支出額(a×b) |
|--------|----------|--------|---------------|
| 全て政務活動 | 73,128 円 | 100%   | 73,128 円      |

令和 6年 4月分給与

明細書

5-15

自民改革会議

氏 名  
所 属

様

支給日

令和 6年 4月30日

受領印

| 勤 怠     |       | 支 給     |         | 控 除    |        | そ の 他     |         |
|---------|-------|---------|---------|--------|--------|-----------|---------|
| 所定就労日   | 21.00 | 基本給(月給) | 250,000 | 健康保険料  | 12,805 | 年末調整還付    | 0       |
|         |       |         |         | 介護保険料  | 2,080  | 年末調整徴収    | 0       |
|         |       | 非課税通勤費  | 7,980   | 厚生年金保険 | 23,790 |           |         |
|         |       |         |         | 社保料調整  | 0      |           |         |
|         |       | 前月修正    | 0       | 雇用保険料  | 1,548  | 合 計       | 0       |
|         |       |         |         | 所得税    | 5,130  | 差引支給額     | 201,727 |
|         |       |         |         | 住民税    | 10,900 | 振 込 支 給 額 |         |
|         |       |         |         |        |        |           |         |
|         |       |         |         |        |        | 合 計       | 201,727 |
|         |       |         |         |        |        | 現金支給額     | 0       |
|         |       |         |         |        |        | 現物支給額     | 0       |
|         |       |         |         |        |        | 基本保険料     | 7,683   |
|         |       |         |         |        |        | 特定保険料     | 5,122   |
|         |       |         |         |        |        | 社会保険料計    | 40,223  |
| 税 額 表   | 甲欄    | 合 計     | 257,980 | 合 計    | 56,253 |           |         |
| 扶 養 人 数 | 0     |         |         |        |        |           |         |

38,675

令和 6年 4月分給与

明細書

自民改革会議

氏 名  
所 属

様

支給日

令和 6年 4月30日

受領印

| 勤 怠     |       | 支 給     |         | 控 除    |        | そ の 他     |         |
|---------|-------|---------|---------|--------|--------|-----------|---------|
| 所定就労日   | 21.00 | 基本給(月給) | 215,000 | 健康保険料  | 10,835 | 年末調整還付    | 0       |
|         |       |         |         | 介護保険料  | 1,760  | 年末調整徴収    | 0       |
|         |       | 非課税通勤費  | 3,800   | 厚生年金保険 | 20,130 |           |         |
|         |       |         |         | 社保料調整  | 0      | 合 計       | 0       |
|         |       | 前月修正    | 0       | 雇用保険料  | 1,313  | 差引支給額     | 175,912 |
|         |       |         |         | 所得税    | 4,050  | 振 込 支 給 額 |         |
|         |       |         |         | 住民税    | 4,800  |           |         |
|         |       |         |         |        |        | 合 計       | 175,912 |
|         |       |         |         |        |        | 現金支給額     | 0       |
|         |       |         |         |        |        | 現物支給額     | 0       |
|         |       |         |         |        |        | 基本保険料     | 6,501   |
|         |       |         |         |        |        | 特定保険料     | 4,334   |
|         |       |         |         |        |        | 社会保険料計    | 34,038  |
| 税 額 表   | 甲欄    | 合 計     | 218,800 | 合 計    | 42,888 |           |         |
| 扶 養 人 数 | 0     |         |         |        |        |           |         |

32,725

71,400

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局 )

|         |                                                      |     |              |
|---------|------------------------------------------------------|-----|--------------|
| 経 費 項 目 | 調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費 |     |              |
| 内 容     | 会派視察 フィリピン 6月2日～5日 17名分                              |     |              |
| 年 月 日   | 令和6年 5月 30日 ～ 令和 年 月 日                               | 金 額 | 10,560,130 円 |

|                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 目 的                    | 報告書参照           |
| 使 途                    | 視察代             |
| 政務活動・<br>県政との<br>関 連 性 | 参加県議各県外調査概要書 参照 |

≪領収書貼付枠≫  
  
10,559,800 円 + 振込手数料 330 円 = 10,560,130 円

| 案分の理由<br>全て政務活動 | 領収書金額(a)     | 案分率(b) | 政務活動費支出額(a×b) |
|-----------------|--------------|--------|---------------|
|                 | 10,560,130 円 | 100%   | 10,560,130 円  |

処理日時 2024年05月29日 14時49分14秒

5-16

■取引情報

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 取引ID    | 240529000347350 |
| 受付番号    | 0529001         |
| 取引種別    | 振込振替            |
| 振込指定日   | 指定日 05月30日      |
| 取引名     | 05月29日作成分       |
| 振込メッセージ | —               |

■振込元情報

|      |  |
|------|--|
| 支払口座 |  |
|------|--|

■振込先口座

|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 振込先金融機関 | 静岡銀行 (0149)           |
| 振込先口座   | 焼津支店 (161) 普通 0376693 |
| 受取人名    | カアンビ .ア               |
| 登録名     | ㈱アンビ・ア                |

■振込金額

|        |             |
|--------|-------------|
| 入金金額   | 10,559,800円 |
| 税込手数料  | 330円        |
| 引落合計金額 | 10,560,130円 |

■依頼者情報

|     |             |
|-----|-------------|
| 依頼者 |             |
| 依頼日 | 2024年05月29日 |

■承認者情報

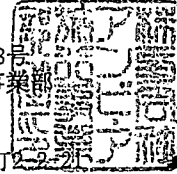
|      |                       |
|------|-----------------------|
| 承認者  |                       |
| 承認期限 | 2024年05月30日           |
| 承認日時 | 2024年05月29日 14時49分    |
| コメント | 会派視察(フィリピン 6/2~5 17名) |

振込依頼を受付けました。  
振込依頼は 5月30日扱いです。

5-16

DATE: 2024年05月17日  
PAGE: 1

自民改革会議 御中

観光庁長官登録旅行業 第638号  
株式会社アンビ・ア 旅行事業部  
本社営業所  
登録番号: T8080001014637  
〒425-0027 静岡県焼津市栄町2-2-2  
アンビ・アビル2階TEL: 054-620-7725 FAX: 054-620-7726  
総合旅行業務取扱管理者: [Redacted]

## 請求書

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。  
以下の通り、ご案内申し上げます。よろしくお願い申し上げます。

| 御 請 求 内 容                     |                 |             |                 | 金 額         |
|-------------------------------|-----------------|-------------|-----------------|-------------|
| <input type="checkbox"/> 出発日  | 2024年06月02日 (日) | 4日間         | (AZD001)        |             |
| <input type="checkbox"/> 帰着日  | 2024年06月05日 (水) |             |                 |             |
| <input type="checkbox"/> ツアー名 | 自民改革会議 フィリピン視察団 |             |                 |             |
| <input type="checkbox"/> 明 細  | 視察費用            | (           | ¥610,500 X 17 ) | ¥10,378,500 |
|                               | 国内交通費           | (           | ¥181,300 X 1 )  | ¥181,300    |
|                               |                 | 【税込金額合計】    | 【内消費税額合計】       |             |
|                               |                 | ¥10,559,800 | ¥16,481         |             |
|                               | 消費税10%対象        | ¥181,300    | (内消費税)          | ¥16,481     |

お支払いは、以下の口座に

05 月 24 日 までにお振込みください。

ご 請 求 額 ¥10,559,800

ご 入 金 額 ¥0

今回ご請求額 ¥10,559,800

☐ 振込先: 静岡銀行 焼津支店 普通 0376693  
口座名: 株式会社アンビ・ア

担当者 [Redacted]

振込手数料は、お客様にてご負担頂きますよう、お願い致します。

5-16

## ご旅行代金明細書

令和6年5月9日

静岡県議会 自民改革会議 様

株式会社 アンビ・ア 本社営業所  
〒425-0027 焼津市栄町2-2-21  
Tel:054-620-7725 Fax:054-620-7726  
所長: XXXXXXXXXX  
担当: XXXXXXXXXX

視察代金明細につきまして下記の通りご案内申し上げます。  
ご査収の程、よろしくお願い申し上げます。

自民改革会議フィリピン視察団  
期間:2024年6月2日(日)～ 5日(水) 4日間  
人員:17名様

ご請求金額 10,378,500 円

| 項目        | 内容                      | 単価(円)   | 数量 | 金額(円)      |
|-----------|-------------------------|---------|----|------------|
| 航空運賃      | 羽田-マニラ往復フィリピン航空ビジネスクラス  | 398,000 | 10 | 3,980,000  |
| 航空運賃      | 名古屋-マニラ往復フィリピン航空ビジネスクラス | 387,000 | 7  | 2,709,000  |
| 羽田空港使用料   |                         | 2,950   | 10 | 29,500     |
| 名古屋空港使用料  |                         | 2,620   | 7  | 18,340     |
| 国際観光旅客税   |                         | 1,000   | 17 | 17,000     |
| 空港税等      |                         | 1,950   | 17 | 33,150     |
| 燃油サーチャージ  |                         | 23,200  | 17 | 394,400    |
| 宿泊代       | シェラトンマニラベイホテル3泊X21,500円 | 64,500  | 17 | 1,096,500  |
| 国内線航空運賃   | マニラ-タグロバン往復エコノミークラス     | 39,600  | 17 | 673,200    |
| 専用車借上げ代   | 専用バス借上げ代595,000円を17名で按分 | 35,000  | 17 | 595,000    |
| 現地日本語係員経費 | 442,000を17名で按分          | 26,000  | 17 | 442,000    |
| 通訳代       | 68,000を17名様で按分          | 4,000   | 17 | 68,000     |
| 添乗員経費     | 323,000を17名様で按分         | 19,000  | 17 | 323,000    |
| 端数調整額     |                         |         | 1  | -590       |
|           |                         |         |    |            |
|           |                         |         |    |            |
|           |                         | 合計      |    | 10,378,500 |
|           |                         | 一人当たり   |    | 610,500    |

# 自民改革会議フィリピン視察団

5-16

2024年6月2日(日)～ 5日(水) 3泊4日

## JR代金

羽田空港発

(敬称略)

|    | 氏名     | NAME      |           |     | 住所    | JR    | JR    | 京浜急行 | 合計     |
|----|--------|-----------|-----------|-----|-------|-------|-------|------|--------|
| 1  | 良知 淳行  | RACHI     | ATSUYUKI  | MR. | 静岡往復  | 5,940 | 5,940 | 660  | 12,540 |
| 2  | 和田 篤夫  | WADA      | TOKUO     | MR. | 三島往復  | 4,070 | 4,070 | 660  | 8,800  |
| 3  | 鈴木 澄美  | SUZUKI    | SUMIYOSHI | MR. | 新富士往復 | 0     | 0     | 0    | 0      |
| 4  | 西原 明美  | NISHIHARA | AKEMI     | MS. | 藤枝往復  | 6,270 | 6,270 | 660  | 13,200 |
| 5  | 望月 香世子 | MOCHIZUKI | KAYOKO    | MS. | 新富士往復 | 5,170 | 0     | 660  | 5,830  |
| 6  | 杉本 好重  | SUGIMOTO  | YOSHIE    | MS. | 浜松往復  | 7,910 | 0     | 660  | 8,570  |
| 7  | 小沼 秀朗  | KONUMA    | HIDEAKI   | MR. | 掛川往復  | 7,470 | 0     | 660  | 8,130  |
| 8  | 大石 健司  | OISHI     | KENJI     | MR. | 静岡往復  | 5,940 | 0     | 660  | 6,600  |
| 9  | 加畑 毅   | KABATA    | TAKESHI   | MR. | 下田往復  | 5,760 | 5,760 | 660  | 12,180 |
| 10 | 岩田 徹也  | IWATA     | TETSUYA   | MR. | 三島往復  | 4,070 | 0     | 660  | 4,730  |
| 合計 |        |           |           |     |       |       |       |      | 80,580 |

名古屋空港発

(敬称略)

|    | 氏名     | NAME       |         |     | 住所    | JR    | JR    | 名鉄    | 合計      |
|----|--------|------------|---------|-----|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1  | 中沢 公彦  | NAKAZAWA   | KIMHIKO | MR. | 浜松往復  | 4,510 | 4,510 | 2,860 | 11,880  |
| 2  | 植田 徹   | UEDA       | TORU    | MR. | 新富士往復 | 7,140 | 7,140 | 2,860 | 17,140  |
| 3  | 天野 多美子 | AMANO      | TAMIKO  | MS. | 静岡往復  | 5,940 | 5,940 | 2,860 | 14,740  |
| 4  | 伊藤 謙一  | ITO        | KENICHI | MR. | 袋井市   | 4,840 | 4,840 | 2,860 | 12,540  |
| 5  | 赤堀 慎吾  | AKAHORI    | SHINGO  | MR. | 菊川往復  | 5,170 | 5,170 | 2,860 | 13,200  |
| 6  | 河原崎 全  | KAWARASAKI | AKIRA   | MR. | 掛川往復  | 4,840 | 4,840 | 2,860 | 12,540  |
| 7  | 加藤 祐喜  | KATO       | YUKI    | MR. | 三島往復  | 7,910 | 7,910 | 2,860 | 18,680  |
| 合計 |        |            |         |     |       |       |       |       | 100,720 |

総額 ￥181,300

令和 6 年度  
静岡県議会英霊にこたえる議員連盟  
視察報告書

フィリピン共和国

令和 6 年 6 月 2 日（日）～令和 6 年 6 月 5 日（水）



## 【視察参加者】

## 羽田空港

|    | 区分  | 氏 名    | 選出区    | 備考 |
|----|-----|--------|--------|----|
| 1  | 幹事長 | 良知 淳行  | 焼津市    |    |
| 2  |     | 和田 篤夫  | 御殿場市   |    |
| 3  |     | 鈴木 澄美  | 富士市    |    |
| 4  |     | 西原 明美  | 藤枝市    |    |
| 5  |     | 望月 香世子 | 静岡市清水区 |    |
| 6  |     | 杉本 好重  | 浜松市中央区 |    |
| 7  |     | 小沼 秀朗  | 掛川市    |    |
| 8  |     | 大石 健司  | 牧之原市   |    |
| 9  |     | 加畑 毅   | 賀茂郡    |    |
| 10 |     | 岩田 徹也  | 田方郡    |    |

## 中部国際空港

|   | 区分 | 氏 名    | 選出区    | 備考 |
|---|----|--------|--------|----|
| 1 | 団長 | 中沢 公彦  | 浜松市中央区 |    |
| 2 | 顧問 | 植田 徹   | 富士市    |    |
| 3 |    | 天野 多美子 | 静岡市葵区  |    |
| 4 |    | 伊藤 謙一  | 袋井市    |    |
| 5 |    | 赤堀 慎吾  | 菊川市    |    |
| 6 |    | 河原崎 全  | 御前崎町   |    |
| 7 |    | 加藤 祐喜  | 駿東郡    |    |

## 【視察行程】

| 月日          | 場所        | 時間       | 交通機関   | 行程                                                                                                                     | 備考                 |
|-------------|-----------|----------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 6月2日<br>(日) | 空港集合      | 12:40    |        | 搭乗手続き                                                                                                                  | 羽田空港               |
|             | 羽田発       | 15:05    | PR421  | フィリピン航空                                                                                                                | ※シェラトンマ<br>ニラベイホテル |
|             | マニラ発      | 18:50    | 専用車    | 着後ホテル※へ                                                                                                                |                    |
| 〃           | 空港集合      | 10:00    |        | 搭乗手続き                                                                                                                  | 中部国際空港             |
|             | 名古屋発      | 12:15    | PR437  | フィリピン航空                                                                                                                |                    |
|             | マニラ着      | 15:35    | 専用車    | 着後ホテル※へ                                                                                                                |                    |
| 6月3日<br>(月) | マニラ       | 10:30    | 5j-655 | 国内線航空機にてレイテ島へ                                                                                                          |                    |
|             | タグロバ<br>ン | 12:00    | 専用車    | 着後ブラウエンへ<br><br>「静岡県慰霊碑」にて慰霊祭                                                                                          |                    |
|             |           | 17:30    | 5j-654 | 航空機にてマニラへ                                                                                                              |                    |
|             | マニラ       | 19:05    | 専用車    | 着後ホテルへ                                                                                                                 |                    |
| 6月4日<br>(火) | マニラ       | 午前<br>午後 | 専用車    | ●BLUEFIN SEAFOOD EXPORT INC.<br>水産品加工場 訪問<br><br>●MANILA INTERNATIONAL<br>LANGUAGE ACADEMY<br>日本語学校 訪問<br><br>宿泊：前日と同じ |                    |
| 6月5日<br>(水) | マニラ発      | 08:10    | PR422  | フィリピン航空                                                                                                                | 羽田空港               |
|             | 羽田着       | 13:40    |        |                                                                                                                        |                    |
| 〃           | マニラ発      | 06:05    | PR438  | フィリピン航空                                                                                                                | 中部国際空港             |
|             | 名古屋着      | 11:15    |        |                                                                                                                        |                    |

## 令和6年度 静岡県議会英霊にこたえる議員連盟 視察報告書

＜目的＞ 昭和60年に県議会議員の先輩方が建立した静岡県戦没者慰霊碑『平和之碑』を静岡県議会英霊にこたえる議員連盟連と神道政治連盟静岡県本部の代表者で参拝し、碑の管理状況の確認と現地協力者との関係の構築を図る。また、静岡県の水産物卸売業者と提携し事業を拡大している水産品加工業者工場と来日技能実習生への日本語教育を行う語学学校を視察し、県政策の充実を図る。

### フィリピン共和国の概要

- 面積 298,170 平方キロメートル（日本の約8割）。7,641の島々がある。
- 人口 1億903万5,343人（2020年フィリピン国勢調査）
- 首都 マニラ
- 民族 マレー系が主体。ほかに中国系、スペイン系及び少数民族がいる。
- 言語 国語はフィリピノ語、公用語はフィリピノ語及び英語。180以上の言語がある。

宗教 ASEAN 唯一のキリスト教国。国民の 83% がカトリック、その他のキリスト教が 10%。イスラム教は 5%（ミンダナオではイスラム教徒が人口の 2 割以上）

政治体制 共和制

元首 フェルディナンド・マルコス大統領  
His Excellency Ferdinand R. Marcos, Jr.

議会 二院制

政府 正副大統領はそれぞれ直接投票により選出  
大統領：任期 6 年、再選禁止  
副大統領：任期 6 年、再選一回まで閣僚は大統領に任命される  
(1) 副大統領：サラ・ドゥテルテ  
(2) 外務大臣：エンリケ・マナロ

GDP 3,936 億ドル (2021 年)

主要産業 ビジネス・プロセス・アウトソーシング (BPO) 産業を含むサービス業 (GDP の約 6 割)、鉱工業 (GDP の約 3 割)  
農林水産業 (GDP の約 1 割) (2021 年)

在留邦人数 15,728 人

在日フィリピン人数 276,615 人 (全体の 10.0%。国籍 (出身地) 別で、中国、韓国、ベトナムに次いで第 4 位)

## BLUEFIN SEAFOOD EXPORT INC. 訪問

●日時：6月4日(火) 9:30~11:00

●応対者： ヘンリー・タン・モラレス 社長

ジョナサン・シー 取引業者社長

製造ライン



衛生基準を満たすための手洗い



### ●聴取内容/現状・取組・課題：

フィリピンの水産物加工品輸出業者の『ブルーフィン・シーフード・エクスポート株式会社』の本社工場を訪問し、製造ラインを視察した。同社は、低温殺菌した水産物を冷凍して付加価値のあるシーフード製品に加工し、全世界に輸出している。静岡市中央卸売市場の魚卸売業者を通じて、静岡県にも同社の商品が大量に流通している。

社長のヘンリー・タン・モラレスは現在45才で、まだ大学生だった2000年に、水産物卸会社を設立し、2003年から冷凍魚の輸出を開始した。

2008年からは、日本市場に向け研究を重ねて開発したタコ焼き用の、茹でてから冷凍したタコのぶつ切り（いわゆるタコブツ）を大量に輸出しており、現在は本社工場で従業員約100人が24時間（2交代制）操業している。徹底した衛生管理も評価され、1日3.4tものタコブツを生産しているという。

技術革新と生産性の向上に加えてコスト削減で、国内の製造原価は20年間、同水準を

維持しているものの、「創業時には1ドルが78円だったのに今は154円となり、円

安ペソ高で本当に大変な状況です」とヘンリー社長は話す。

## 質疑Q & A：

Q 日本では労働者の高齢化が問題視されるが、その点はいかがか。

A フィリピンでは平均年齢が24歳、人口増加に伴う人口ボーナスは2045年まで続く予定なので、その点では期待できる状況にあり、労働者の高齢化問題は無い。ちなみに平均寿命は60才代だと思う。

Q タコの加工で苦勞しているところは、どのような点か。

A タコ焼き用のタコブツがヒットするまでは、解凍したものがすぐに使用できるレベルにすることが悩みでした。タコ焼きの中身のタコが硬くて食べにくいことを解消するため、また生臭さを取り除くための塩もみの工程を重視しました。現在の製品は解凍してすぐにタコ焼きに使えるものになっています。

Q 2021年6月1日から日本で導入されたHACCP（ハサップ）の影響はいかがか。

A HACCPとは、食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去または低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法であり、日本が導入したことにより、その対応もしている中で、徹底した衛生管理が弊社の評価につながっているため、地元業者による対応という意味ではクリアしていると考えている。

## ●その他

本工場視察をより有意義なものにするために、本視察に先立ち令和6年4月19日に静岡中央卸売市場へ水産物の集荷状況、競りの様子やHACCPの影響について確認するため視察を行っている。



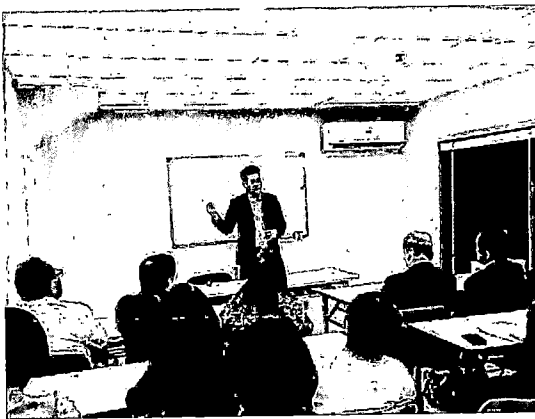
## マニラ国際アカデミー株式会社 訪問

●日時：6月4日(火) 14:00~15:30

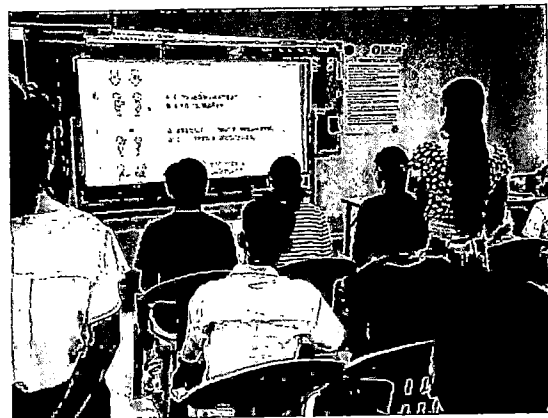
●応対者：代表者 ビラヌエバ アリステオ (ARISTEO C. VILLANUEVA)

(リードグループ会社：取締役社長)

代表による説明



授業の様子



●聴取内容/現状・取組・課題：

事業のねらい フィリピン人の特性（おもてなしの心・優しさ、異国文化環境への適応性の高さ、英語力のレベルの高さなど）を活かしたキャリアパスを作り出すとともに、高度な教育プログラムによって、企業の要望に沿った質の高い人材を育成する = 日本の多くの企業と提携⇒ フィリピン人の生活向上、提携企業の業績向上・日本社会への寄与

施設概要 マカティ本校、セブ校、ダバオ校（ミンダナオ）

学生数 約 200 人（本校 約 70 人（寮、ホテル等宿泊）、分校 約 150 人）

大学・短大を卒業後に入校（ほとんどが 20 歳代）

男女比 介護分野 2：8 ホテル分野 5：5

教員数 本校9人（フィリピン人） ※日本人教師はコロナで一時帰国

## 教育システム

日本語教育プログラム 6か月 9:00～16:00

中級レベル 300h～360h：コミュニケーションスキルの習得、日本の職

場倫理、異文化学習 ⇒ 日本語能力試験合格率 90%（コロナ前は 97%）

※フィリピン全体の合格率は約 30% ネパール、ベトナム約 70%

政府認定の日本語学校は東南アジアでフィリピンが最も少ない

介護等専門の学習 1か月半 日本の特定技能試験に合格するため

⇒ 日本語学習、介護等専門学習で日本に行くまで約 10 か月かかる

学費約 25 万円（生活費は別） 日本で働くまでには約 50～80 万円

この学校の場合、学費は人材を求める企業が支払う

※他国は自費（フィリピンは借金する必要なし）

送出機関（政府公認）同じ建物内に別機関としてある 2009 年設立・認可

## 事業の背景

### ○フィリピン側

・フィリピン人の女性・・・家族を最も大切にする（家族のために働く・稼ぐ）、明るく

陽気な性格、コミュニケーション能力が高い、世話好き

・国内の状況 バナナ・パイナップルなどの農業主体、工場など製造産業なし

⇒人材豊富（人口増加中であり、国民の平均年齢 24 歳（日本 48 歳））

給料：マニラ 1 日 600 ペソ（約 1,700 円）日本なら 1h 分

地方はさらに安い⇒海外で稼ぎたい

⇒ 日本は、治安がいい・近い・行きたい国

介護、ホスピタリティが人気 ※円安はマイナス材料

# ○日本側

・人出不足、高齢化…介護、宿泊施設等ホスピタリティ分野での人材が必要

フィリピン人：経費はかかるが、定着率が高い

他国（ベトナム等）：経費が安いがエスケープ率が高い

⇒フィリピン人の気質は介護士として活躍できる要素が多い。

また、日本側の状況からもフィリピン人が求められている。労働力もグローバル化の時代になっている。なお、日本の地方で待遇（給料等）が多少劣っても、ファミリー的要素のある職場であれば、定着率が高い（東京等首都圏オンリーではない）

## 〔参考〕

2008年12月、日・フィリピン経済連携協定（EPA）が発行され、この協定に基づいて、フィリピンからの看護師・介護福祉士候補者の受入れが可能となった。協定では、看護師や介護福祉士になるための2つのコースが提供されており、1つは病院や介護施設で働きながら資格を取得する「就労コース」、もう1つは介護福祉士として学業を積む「就学コース」がある。2017年における外国人介護職員数は約3,500人、うちフィリピンが全体の41.4%を占めて最も多い。2023年3月時点で、フィリピン人介護福祉士候補者は就労コースで2,680名に達している。なお、フィリピン人をはじめとする外国人介護人材の受入れの仕組みには、特定技能ビザ／在留資格「介護」／EPA（経済連携協定）／技能実習の4つがある。

質疑Q & A :

Q 就職先企業とのマッチングはどういう状況か？

A 企業からのオーダーに合わせ、派遣人材を決めて育成している。求人内容をもとに、人材及び人数等を調整して契約し、学費等の提供を受けている。選考の倍率は高く、多く学生の中から面接、語学力、IQ などをもとに決めている。離脱する学生が出た場合には補充していく。

Q 課題にはどういうことがあるか？

A フィリピン人に対する日本人のイメージを変えていくこと。具体的には、芸能関係のタレント的要素の高い印象から、介護福祉士、英語教師など専門性を持った高度人材であるというイメージにしていきたい。

## 静岡県慰霊碑

- 日時：6月3日(月) 14:00~15:00
- 参加者：県議団17人、民間参列者12名他
- 内容：平成18年(2006年)1月に静岡県議会「英霊にこたえる議員連盟」によって建立された「平和之碑」の管理状況を確認し、慰霊の神事を行った。レイテ島では太平洋戦争で多くの本県出身者が命を落としており、戦後各地に慰霊碑が建立されたが、歳月の経過で劣化と荒廃が進んでいる。18年前の英霊議連によって新設された碑には、数年ごとに代表者が慰霊と状況確認のために訪問している。一昨年8月、英霊議連の三役が5年ぶりに視察した。



適切に管理されている平和之碑



慰霊祭

### 所感

レイテ島では太平洋戦争で多くの本県出身者が命を落としており、戦後各地に慰霊碑が建立されたが、歳月の経過で劣化と荒廃が進んでいる。本県では18年前に英霊にこたえる議員連盟によって碑を新設し、数年ごとに代表者が慰霊と状況確認のために訪問してきたが、コロナ禍の影響で5年ぶりとなった。日本人や米国人の兵士だけではなく何の罪もない多くのフィリピン人の命を奪った戦争のことを忘れないように追悼碑を守り、戦争の無い平和な世界にむけて努力していく。

## 県外調査概要書

令和6年6月7日

会派名・議員氏名 植田 徹

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目 的   | 会派フィリピン視察                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 年 月 日 | 令和6年6月2日～5日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 場 所   | フィリピン（マニラ・レイテ島）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 内 容   | <p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容 1～3については、会派報告書参照</p> <p>4 県政への反映</p> <p>① 静岡県慰霊碑にて慰霊祭の執行。<br/>平成18年1月に静岡県議会「英霊にこたえる議員連盟」によって建立された「平和之碑」(当時の知事である石川喜延氏書)の管理状況を確認し、慰霊神事を執り行う。レイテ島では太平洋戦争で多くの本県出身者が命を落としており、戦後各地に慰霊碑が建立されたが、歳月の経過で劣化と荒廃が進んでいる。数年ごとに代表者が慰霊と状況確認のために訪問しているが、今回は、静岡県議会英霊議連と静岡市議会議員、神道政治連盟静岡県本部並びに自民党静岡県連青年部・青年局の代表者で参拝し、後々若い議員が慰霊祭の意義を認識して、この行事を引き継いで戴きたい。</p> <p>② ブルーフィン・シーフード・エクスポート株式会社視察<br/>この会社は、2000年に創業したフィリピンの水産加工と輸出を行なう大手業者。国際市場に向けチルド、冷凍、低温殺菌、付加価値のあるシーフード製品を加工し、日本をはじめアジア諸国、アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、中東、アフリカに輸出しているが、我が国にとって必要不可欠の食材であるため、静岡県下の業者間での提携を急ぎたい。</p> |

|  |                                                                                                                                                                                                                             |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>③マニラ国際アカデミー株式会社視察</p> <p>この会社は、日本語教師交換プログラムという日本の語学学校との連携事業で急成長。特にフィリピン人の技能実習生に日本での雇用機会を与え、日本語や日本文化、技能向上のサポートも行なう。特に介護者のための国際研修や技能実習生制度など、卒業生は日本でのより良いキャリアを得ている。労働力不足が深刻な我が国での活躍が期待され、静岡県下で即戦力になる労働者の養成に大きな期待を寄せている。</p> |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

## 県外調査概要書

令和6年6月7日

会派名・議員氏名 和田 篤夫

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目 的   | 会派海外視察（フィリピン）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 年 月 日 | 令和6年6月2日～令和6年6月5日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 場 所   | フィリピン（マニラ、タクロバン）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 内 容   | <p>1 行程、2 応対者、3 聴取内容<br/>会派「視察研修報告書」参照</p> <p>4 県政へ反映</p> <p>レイテ島に建立されてある静岡県戦没者慰霊碑での慰霊は、尊い犠牲の上に今ある平和の有難さを感じるとともに、後世に受け継ぐべき平和活動として、今後も受け継ぐべきと感じた。</p> <p>マニラに所在している「ブルーフィン・シーフード・エクスポート株式会社」では、2000年創業以来、本県にイカ、タコ等を加工し輸出しており、大変厳しい衛生管理の中で加工作業を行っている現況を確認できた。水産業とこれらの取引をしている業者を含め、県民の食に貢献している業種の一つとして、今後も発展させるべきと思う。また、マニラ国際インターナショナルスクールでは、日本に於ける人口減少に伴う人材不測の対応方法の一つとして、フィリピンでも日本で働きたいと希望する若者の日本語教育を行っている現況を確認できた。人口減少による労働者不足を補う一つのツールとして、大変大切な事業であり、様々な形で支援をする必要性を感じた。</p> |

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和6年6月5日

会派名・議員氏名 自民改革会議 鈴木澄美

|       |                                                                                                                                                                                   |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目 的   | フィリピンにおける日本向け水産加工業と日本で不足する介護等外国人材確保等に関する調査                                                                                                                                        |
| 年 月 日 | 令和6年6月2日（日）～6月5日（水）                                                                                                                                                               |
| 場 所   | フィリピン マニラ市内                                                                                                                                                                       |
| 内 容   | <p>（2から3までは、会派報告書を参照）</p> <p>1 行程<br/>         自宅―新富士駅―品川駅―羽田第3ターミナル―マニラ<br/>         マニラ―羽田第3ターミナル―品川駅―新富士駅―自宅</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p>4 県政への反映</p> <p>（次ページ以降に記載）</p> |

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

## ●日本食における水産食材の海外加工現場視察

日本食の食材は、多くの海外からの輸入に頼っている。マニラ市内で水産品の加工及び輸出を行う事業者を視察し、そこで取り扱う水産品の加工と輸出等に関する現場の状況を確認した。

食材は、生産から食卓に届くまで、その全てにおいて安全性が最優先される。それは、国内だけでなく輸出入に関しても国際的な取組として果たしていかなばならない。

国内においては、令和3年6月1日から、原則として、すべての食品等事業者はHACCP(食品衛生管理制度)に沿った衛生管理に取り組むことになっている。

HACCPとは、食品の製造・加工、調理、販売等が対象となり、①食品衛生上の危害の発生を防止するために特に重要な工程を管理するための取組。②取り扱う食品の特性等に応じた取組がある。

このHACCPは、世界標準のように考えがちだが、基本的には同じであっても、国や地域によってより厳しい基準を設けている。例えば、輸入先が日本のHACCPよりも厳しい基準を設けているとすれば、その国や地域への輸出ができないということになる。

今回視察したのは、マニラにある日本食には欠かせない「タコ」の加工現場であった。食材としての「タコ」は、今やアメリカやEUに輸出され、先ほど触れたEUのHACCPは、日本より厳しいものであり、その基準を満たしたものが日本に輸出されている。

フィリピン周辺は、「シマダコ」が豊富に取れるそうで、日本食では「マダコ」が主流だが、価格が高騰し、その確保が難しくなっている。日本人の口に合う代替品になるためには、食感や味も一定の条件を満たさなければならないが、それを満たし、かつ世界一厳しいと言われる、EU規格のHACCPを満たした「シマダコ」が日本に輸出されている。

関係者からは、衛生管理はもちろんのこと、日本人やその他の輸出先に嗜好に合わせた加工を行い、その試行錯誤についてお話を伺うことができた。また、漁の後から運搬、この事業所での加工、輸出に至るまで、それぞれの工程についても衛生管理がどのように確保されているか聞くことができた。

試食した結果は、私たち日本人がいつも食べている食材として何ら変わるものではなかった。日本以上に厳しい衛生管理のもと、その食材が日本に送られてくる現場に関心を寄せて

いる。

本県の水産業者の食品衛生管理の在り方や、輸出を意識した相手国が受け入れる HACCP の導入は、これまでの日本基準ではクリアできないこともわかった。何よりも、食材として相手側の食文化を意識したものであるための加工技術や広報活動の重要性も参考になった。

### ●介護分野における海外人材の確保

日本における少子高齢化と人口減少は、かなり深刻な事態に向かっている。先日の報道では、令和 5 年度の出生率が 1.20 と過去最低となった。8 年連続の減少となっている。

人口減少により、日本の国力は低下していくことが懸念され、国力維持のためには日本人に加え海外からの人材確保が重要となっている。特に医療や介護分野をはじめ、産業分野など多くの分野で「人が足りない」減少が明らかになっている。

マニラでは、介護ほか多分野の人材を確保するための人材教育と日本への派遣等を担う、現地機関を訪問し、その取組について調査した。

教育とはフィリピン国内で日本語を学び、日本で資格取得を目指すためのものであり、派遣とは日本が求める人材として技能実習生、特定技能、高度専門職などに関する手続等を行う。

職種には、医療、宿泊施設、建設、食品サービス、食品および飲料製造などに求められる労働者を対象とし、この機関では、これらの労働者を対象とした独自の管理システムも備え、クライアントである日本の事業者とのマッチングやフィリピン人の仕事に対する意識の特性を生かし、就職先の職場での安定した勤務状況などを提供することで、信頼関係を高めているとの説明があった。

フィリピン人の特性(魅力)とは、「愛嬌が良く、フレンドリーでいつも笑顔」、「フィリピンは世界の英語能力指数(EPI)で 13 位」、「思いやりを持った国民性(フィリピン・ホスピタリティ)は、明るい性格と優しさで。お年寄りを元気づけ、職場を明るくする」、「高齢者を大事にする国に生まれ育ち、大家族で生活するのが当たり前のことから高齢者と接することに慣れている」などをあげている。

フィリピンでは、海外で働く国民が多く、国としてその政策を進めている。国民を保護する立場から、海外に出稼ぎに行く国民が不利にならないようにも配慮し、受け入れ側にもそのメリットが享受できる、Win-Win の関係を心掛けている。

日本で働くことを求めるフィリピン人は、その学費等の個人負担はない。将来規模する日本での職種に関わる事業者(日本の受け入れ側)がその費用を負担する。その場合、事前に本人と事業者の面接があり、双方のマッチングを確認する。

この機関で教育を受け日本に出かけるまでの間に脱落する人は少ないという。仮に脱落したとしても、その不足分は事業者の追加負担なく、こちらの機関が責任を持って確保している。

日本に着いてからは、先ほど触れたフィリピン人の特性を生かし、長くその職場で働いていただけようである。職場の移転は本国の関係機関の了解が必要とのことで、その理由なども明らかにしなければならない。職場での不当な扱いなどがなければ定着率は高いとのことであった。

日本で働く他の国のケースでは、本人が自国で多額の借金をし、渡航費用などを捻出することになり、途中で帰国してもその借金は返さなければならない。フィリピンでは、本人負担がないことのメリットは大きいといえる。

ここの責任者は、かつて日本で14年間働いた経験があり、当時は職種がエンターテイメントしかなかったという。もっと能力のあるフィリピン人が、多くの分野で貢献できることを目標として取り組んできた思いを説明した。それが実現しつつあることにこれまでの努力が報われているとも話していた。

今回の視察では、日本が直面している人材確保において、フィリピンでの取組がこれまでの経験も生かしつつ、大きな貢献をする可能性について学ぶことができた。

それは、国毎による国民性やその国の政策にも左右される。本県内の介護事業所でも参考になる内容であり、またその他の分野も含め、様々な方面に伝えていきたい。

本県では、今後ベトナムやネパールの人材確保について力を入れていく方向だが、相手国の人材派遣制度や国民性などにより、受け入れる国内での関係者にとって、海外から働きに来る人材にとっての双方が、互いにWin-Winの関係が構築できるよう配慮していくことも重要である。

## 県外調査概要書

令和6年6月5日

会派名・議員氏名 自民改革会議・岩田徹也

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目 的   | 静岡県戦没者慰霊日「平和之碑」にて慰霊祭を行い、碑の管理状況確認と現地協力者との関係構築を図る。また、県の水産物卸売業者と提携し事業を拡大している水産品加工業者工場と来日技能実習生への日本語教育を行う語学学校を視察し県政策の充実を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 年 月 日 | 令和6年6月2日～令和6年6月5日（3泊4日）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 場 所   | フィリピン・マニラ、タグロバン                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 内 容   | <p>1 行程</p> <p>6月2日</p> <p>静岡県内各所から新幹線乗車→羽田空港 12:40 着（空港集合）</p> <p>→羽田空港 15:05 発→フィリピン空港 18:50 着</p> <p>到着後車移動にて宿泊先へ移動</p> <p>宿泊：マニラ市内</p> <p>6月3日</p> <p>マニラ国内線航空機にてレイテ島へ移動</p> <p>→車にてブラウエンへ移動「静岡県慰霊碑」慰霊祭に参加</p> <p>→航空機にてマニラへ移動→神道政治連盟、自民党青年部青年局との懇親会</p> <p>宿泊：マニラ市内</p> <p>6月4日</p> <p>車にて移動→「BLUEFIN SEAFOOD EXPORT INC.」水産品加工工場視察</p> <p>→「マニラ インターナショナル ランゲッジ アカデミー」日本語学校訪問</p> <p>宿泊：マニラ市内</p> <p>6月5日</p> <p>車にて空港へ移動→フィリピン空港 08:10 発→羽田空港 13:40 着</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>1～3に関しては、上記1～3に関しては、別紙 会派視察報告書を参照。</p> <p>4 県政への反映</p> <p>3日には、長年に渡りフィリピンの慰霊祭に参加してきた先輩議員だからこそ現在のフィリピンの発展の様子を知っており、その話は大変参考になった。また、これまでアジアの発展をけん引してきた日本だが、東南アジア（ASEAN）の経済成長率ランキング 1 位であるフィリピンと現在の日本を比べられたことや国外から日本を俯瞰して観ることで、世界やアジアの中で日本がどのような位置付けなのかを知る良い機会にもなった。</p> <p>4日の午前中は、水産物加工品輸出入業『BLUFFIN SEAFOOD EXPORT 株式会社』の製造ラインを視察した。こちらの会社の商品は静岡市中央卸売市場を通じて、静岡県にも流通しており、今では従業員 100 人による 24 時間操業で、1 日 3.4 t もの『たこぶつ』を生産している。味や食感への拘りには並々ならぬ工夫と努力があり、徹底した衛生管理が行われていた。</p> <p>同日の午後は、送り出し機関『MANILA INTERNATIONAL LANGUAGE SCHOOL』を視察。フィリピンでは、採用する企業側が実習生の教育費を負担する奨学金制度が一般的である。また、フィリピンの方は英語が話せるため、進学先として日本を積極的に選ばないことやコロナ禍での実習制度の停止、更には円安により日本離れが顕著に起きていた。本来であれば日本を支える日本の若者が不足し、外国人の力を借りなければならない状況に対してこの事態に危機感を覚えた。</p> <p>日本はより一層国外の力を借りなければならない危機的状況の中、特に東南アジアの人々から選ばれる努力をしなければならないが、その魅力づくりを県政で創造していく。</p> |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

\* 本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

|                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>県 外 調 査 概 要 書</div> <div>令和 6 年 6 月 5 日</div> <div>会派名・議員氏名 自民改革会議・加畑 毅</div> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 目 的                                                                                | 自民改革会議 フィリピン視察                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 年 月 日                                                                              | 令和 6 年 6 月 2 日～令和 6 年 6 月 5 日（3 泊 4 日）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 場 所                                                                                | フィリピン・マニラ、タグロバン                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 内 容                                                                                | <div>1 行程</div> <div>6 月 2 日</div> <div>静岡県各所から新幹線乗車→羽田空港 12：40 着（空港集合）</div> <div>→羽田空港 15：05 発→フィリピン空港 18：50 着</div> <div>到着後車移動にて宿泊先へ移動</div> <div>宿泊：マニラ市内</div> <div>6 月 3 日</div> <div>マニラ国内線航空機にてレイテ島へ移動</div> <div>→車にてブラウエンへ移動「静岡県慰霊碑」慰霊祭に参加</div> <div>→航空機にてマニラへ移動→神道政治連盟、自民党青年部青年局との懇親会</div> <div>宿泊：マニラ市内</div> <div>6 月 4 日</div> <div>車にて移動→「BLUEFIN SEAFOOD EXPORT INC.」水産品加工工場視察</div> <div>→「マニラ インターナショナル ランゲッジ アカデミー」日本語学校訪問</div> <div>宿泊：マニラ市内</div> <div>6 月 5 日</div> <div>車にて空港へ移動→フィリピン空港 08：10 発→羽田空港 13：40</div> <div>2 応対者</div> <div>3 聴取内容</div> <div>1～3 に関しては、別紙「令和 6 年度静岡県議会英霊にこたえる議員連盟視察報告書 フィリピン共和国」を参照。</div> |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>4 県政への反映</p> <p>6 月 3 日に静岡県議会自民改革会議の『英霊にこたえる議員連盟』の一員として、フィリピンのレイテ島を訪れ、静岡県戦没者慰霊碑を参拝し、碑の管理状況の確認、現地の方々との交友関係を再確認した。6 月 4 日には、まずフィリピンの水産物加工品輸出業者の『ブルーフィン・シーフード・エクスポート株式会社』の本社工場を訪問し、製造ラインを視察した。低温殺菌した水産物を冷凍し、付加価値のあるシーフード製品に加工して全世界に輸出している会社で、静岡市中央卸売市場の魚卸売業者を通じて、静岡県にも同社の商品が流通している。</p> <p>続いて、「マニラ インターナショナル ランゲッジ アカデミー」日本語学校を訪問。フィリピンの 10 人に 1 人が海外に移住しており、約 18 万人のフィリピン人が日本で働いているという。英語がフィリピンの公用語であるのがその理由。</p> <p>人口減少が続く日本では、外国人労働者の受け入れも課題のひとつであり、フィリピンとの関係性を良好に保つことは重要である。日本の文化やアニメ、清潔な街並みへの憧れは依然として強い傾向にあり、県政への反映も期待出来ると考える。</p> |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

\* 本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

|                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="text-align: center;">県 外 調 査 概 要 書</p> <p style="text-align: right;">令和6年6月28日</p> <p style="text-align: right;">会派名・議員氏名 自民改革会議 加藤 祐喜</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 目 的                                                                                                                                                  | <p>静岡県戦没者慰霊日「平和之碑」にて慰霊祭を行い、碑の管理状況確認と現地協力者との関係構築を図る。また、県の水産物卸売業者と提携し事業を拡大している水産品加工業者工場と来日技能実習生への日本語教育を行う語学学校を視察し県政策の充実を図る。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 年 月 日                                                                                                                                                | <p>令和6年6月2日～令和6年6月5日</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 場 所                                                                                                                                                  | <p>フィリピン（マニラ、タグロバン）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 内 容                                                                                                                                                  | <p>1 行程 2 応対者 3 聴取内容<br/>上記1～3に関しては、別紙会派視察報告書を参照。</p> <p>4 県政への反映<br/>我々の日常があるのも大戦中に犠牲になった英霊の方々が日本の未来のために戦ったおかげです。慰霊祭を通して改めて戦争の悲惨さを忘れず平和への願いを改めて強く思い、その歴史を学び紡いでいくことが重要であると再認識しました。国が減びては県も町もありません。地方自治体としても平和への努力は忘れてはいけないことだと強く思いました。</p> <p>今や円安により日本の世界経済における影響力は弱まっている。また食糧輸入を海外に頼る我々にとっては現場の理解が不可欠であり、HACCPによる国際的な衛生管理手法に則った食糧管理の現況を確認できたことは引き続き適正な取引関係の構築のために寄与するものである。</p> <p>少子高齢化の進む日本の人材不足には外国人人材の登用を適正に進めることも必要になる。今回は日本語教育プログラムの仕組みについて説明を受けた。昨今問題になりつつある外国人技能実習生の失踪問題は送り出し機関との金銭的な面が原因の場合が多いと思われるが、本人でなく企業に金銭負担をさせて借金等のない状態で送り出す本学校の仕組みは本人の負担が少なく問題も起きにくい。双方がより良い形で関係性を気付けるように努めたい。</p> |

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

## 県外調査概要書

令和6年6月26日

会派名・議員氏名 自民改革会議 良知 淳行

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的  | 昭和60年に県議会議員の先輩方が建立した静岡県戦没者慰霊碑『平和之碑』を静岡県議会英霊にこたえる議員連盟連と神道政治連盟静岡県本部の代表者で参拝し、碑の管理状況の確認と現地協力者との関係構築を図る。また、静岡県の水産物卸売業者と連携し事業を拡大している水産品加工業者工場と来日技能実習生への日本語教育を行う語学学校を視察し、県政策の充実を図る。                                                                                                                                      |
| 年月日 | 令和6年6月2日（日） ～ 令和6年6月5日（水）                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 場所  | フィリピン共和国（ マニラ・タグロバン「静岡県慰霊碑」・水産品加工場・日本語学校 ）                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 内容  | <p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p>上記1～3に関しては、別紙「会派報告書」を参照。</p> <p>4 県政への反映</p> <p>静岡県戦没者慰霊碑『平和之碑』の管理状況を定期的に訪問確認することにより、現地協力者と共に戦争の悲惨さと、戦争のない平和な世界を築いてゆくことを再確認する機会とする。また、お互いに水産物加工技術力の向上と製品の安全性及び円滑な流通システムの構築を図り静岡県の水産物輸出入の活性化を図る。県内企業の労働力不足を補うべく、フィリピン人の語学力の向上と企業の要望に沿った質の高い人材を育成し県内企業への人材確保を可能にして行く。</p> |

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

|                                                                         |                                                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>県外調査概要書</div> <div>令和6年7月3日</div> <div>会派名・議員氏名 自民改革会議 西原 明美</div> |                                                                                                                        |
| 目的                                                                      | 静岡県戦没者慰霊日「平和之碑」にて慰霊祭を行い、碑の管理状況確認と現地協力者との関係構築を図る。また、県の水産物卸売業者と提携し事業を拡大している水産品加工業者工場と来日技能実習生への日本語教育を行う語学学校を視察し県政策の充実を図る。 |
| 年月日                                                                     | 令和6年6月2日～令和6年6月5日                                                                                                      |
| 場所                                                                      | フィリピン（マニラ、タグロバン）                                                                                                       |
| 内容                                                                      | <div>1 行程</div> <div>2 応対者</div> <div>3 聴取内容</div> <div>上記1～3に関しては、別紙 会派視察報告書を参照。</div> <div>4 県政への反映</div>            |

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

これからの人口減少社会に向けて、世界的に労働人材獲得競争が激しくなる中で、日本が他国と比べ選ばれる国になるかどうかの試金石になると考えられる改正出入国管理法が成立した。これまでの厳しい職場環境に置かれた技能実習生の失踪が相次ぎ、人権侵害の指摘があるとしてされてきた今の外国人労働者の技能実習制度を廃止し、かわりに、人材の確保と育成を目的とした「育成就労制度」を設け、外国人労働者を原則 3 年で専門の技能があると認められる「特定技能」の水準にまで育成するとした。

専門の知識が求められる特定技能制度へのつながりを重視し、受け入れる職種を介護や建設、農業などの分野に限定した。これより先にフィリピンでは、送り出し機関とは別に日本企業からの支援で日本語学校が運営されており、そこには、フィリピン各地より、日本で仕事をしたい優秀な人材を集め、日本語教育を行っている。今回のフィリピン視察では、その日本語学校を視察し、授業風景も合わせて視察することができた。そこで学ぶ学生の 9 割は介護分野を希望しており、昨年からは看護やホテル等観光分野やビルメンなどで働く事を希望する生徒も増えてきた。今回の改正で受け入れる分野は、働き手が不足している介護や建設、農業などが想定されている。これまで原則認められていない別の企業などに移る転籍を、一定の要件のもと同じ分野に限り認められることになる。日本で働きたいと目を輝かせて日本語を熱心に勉強している学生たちに、日本の学生は勝てるのだろうか……と考えてしまった。これからの日本は彼らを頼らなければ経済発展は望めない。静岡県としても、外国人の受入体制を構築し、今まで以上に共生できる社会を築き上げていく必要性を感じた。

|                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>県 外 調 査 概 要 書</div> <div>令和 6 年 6 月 5 日</div> <div>会派名・議員氏名      自民改革会議・望月香世子</div> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 目      的                                                                                 | フィリピンにおける水産品加工場、日本語学校等の調査                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 年   月   日                                                                                | 令和 6 年 6 月 2 日 ～ 6 月 5 日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 場      所                                                                                 | フィリピン（マニラ）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 内      容                                                                                 | <div>1   行程</div> <div>2   応対者</div> <div>3   聴取内容</div> <div>1 ～ 3 については別紙、会派視察報告書を参照。</div> <div>4   県政への反映</div> <p>本視察に先立ち静岡中央卸売市場にて HACCP（食品衛生管理制度）の状況について勉強会を行っているが、今回視察を行ったマニラの水産食材（タコ）加工現場では、日本へ輸出に際し、世界一厳しいといわれる EU 規格の HACCP の基準を使用しており、衛生管理はもちろんのこと、日本やその他輸出先に合わせた加工、輸出を行っている。本県の食品衛生管理の在り方についても、また他国への販路作りについても学ぶべきところが多く見受けられた。人材確保については、介護分野での国内従事者の不足からフィリピンにおける日本語教育、日本の事業者とのマッチングの状況について視察を行った。英語を身に着けるよりも日本語は大変難しいとのことで、日本で働くことを求めるフィリピンの方に対しては、日本で受け入れを行う事業者が学費等を負担することが必要となる。学校の責任者は強い使命を持ち、高度人材の輩出に意欲を見せる。人材を育成する国と受け入れ国との相互理解が大切である。</p> |

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県 外 調 査 概 要 書

令和6年6月30日

会派名・議員氏名 自民改革会議・大石健司

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目 的   | 静岡県戦没者慰霊日「平和之碑」にて慰霊祭を行い、碑の管理状況確認と現地協力者との関係構築を図る。また、県の水産物卸売業者と提携し事業を拡大している水産品加工業者工場と来日技能実習生への日本語教育を行う語学学校を視察し県政策の充実を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 年 月 日 | 令和6年6月2日～令和6年6月5日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 場 所   | フィリピン（マニラ、タグロバン）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 内 容   | <p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p>上記1～3に関しては、別紙 会派視察報告書を参照。</p> <p>4 県政への反映</p> <p>①戦後60年を機に、当時の県議の先輩方が建立した静岡県戦没者慰霊碑を参拝し、碑の管理状況と現地の協力者との友好関係の再確認を行った。県民の代表として不戦の誓いを新たにすることで、反戦教育や恒久平和の機運醸成に繋げる。</p> <p>②新進気鋭の水産物加工品輸出業者「グリーン・シーフード・エクスポート」の本社工場を視察。低温殺菌した水産物を冷凍して、付加価値のあるシーフード製品に加工し、安価で全世界に輸出している同社の食品の安全を確保するための衛生管理手法（HACCP）を学び、県内の加工業者への指導や助言、独自条例制定のヒントを得た。</p> <p>③日本の看護、介護、ホテル、建設などの業界での就労を目指すフィリピンの若者に日本語や専門知識を教える『マニラ国際アカデミー』を視察。少子化、人口減少が進む本県に、合法的に優秀で勤勉な外国人労働者を受け入れていくための効果的な準備や要件の基礎知識や手順を学んだ。</p> |

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県 外 調 査 概 要 書

令和6年7月3日

会派名・議員氏名 自民改革会議 天野多美子

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目 的   | 静岡県戦没者慰霊日「平和之碑」にて慰霊祭を行い、碑の管理状況確認と現地協力者との関係構築を図る。また、県の水産物卸売業者と提携し事業を拡大している水産品加工業者工場と来日技能実習生への日本語教育を行う語学学校を視察し県政策の充実を図る。                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 年 月 日 | 令和6年6月2日～令和6年6月5日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 場 所   | フィリピン（マニラ、タグロバン）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 内 容   | <p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p>上記1～3に関しては、別紙 会派視察報告書を参照。</p> <p>4 県政への反映</p> <p>英霊にこたえる議員連盟によって建立された平和之碑を訪れ、管理状況を確認し、慰霊の神事を行った。レイテ島で命を落とした多くの本県出身者の御霊をお祀りするとともに、今日の繁栄と平和は犠牲者の上に成り立っており、後世に永く伝えていくことと、戦争を二度と繰り返すことのないよう誓った。</p> <p>また水産加工業者の工場を見学し、国際市場向けに輸出されているシーフード加工品がどのように管理され付加価値を高めているか見学した。</p> <p>マニラ国際アカデミーでは、フィリピンでの日本語学校の様子を見学。労働力不足が深刻な日本での活躍が期待される。</p> |

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

## 県 外 調 査 概 要 書

令和 6 年 6 月 14 日

会派名・議員氏名 自民改革会議 中 沢 公 彦

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目 的   | 静岡県戦没者慰霊式典、水産加工会社・日本語学校・研修生送り出し機関現場視察                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 年 月 日 | 令和 6 年 6 月 2 日～5 日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 場 所   | フィリピン・レイテ島ルソン島                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 内 容   | <p>1～3. は全派視察報告書参照、<br/>視 察 報 告 (4. 県政への反映)</p> <p>【レイテ島にて】</p> <p>継続的に実施している静岡県戦没者慰霊式典を催した。レイテ沖での静岡県出身の 14500 人余りの御柱に心を込めて哀悼と感謝の意を捧げる式典を敢行した。フィリピン政府の観光局職員・地元住民・神社関係者・遺族関係者等の参列を賜った。コロナウイルス感染症対策の影響で訪問できずにいたが、関係者からは訪問の歓迎を受け厳かの中に懐かしく歓談ができたことは交流の意義と重要性を感じる貴重な機会となった。</p> <p>【ルソン島にて】</p> <p>マニラにおける視察は、水産加工会社への訪問と日本語学校及び技能実習・特定技能実習の送りだし機関への訪問、現場視察を行った。</p> <p>水産加工会社では、焼津市の企業とすでに取引をしている会社であり、主にタコとイカを静岡県に輸出している。ヨーロッパ基準の HACCP を採用し、衛生管理は最高レベルであり、今後需要に合わせ更なる取引量が見込め、静岡県との水産加工における交流が期待できる。県としてもフィリピンにおける交流を注視すべきである。</p> <p>日本語学校及び送り出し機関は、グループ企業となっており多くの実績を残している。介護・サービス業を中心に生徒の育成をしている。県内においても介護の人材確保のニーズが高く、今後、県内施設の要請に合わせ関係を構築できるようにしていきたい。</p> <p>他国とフィリピン人材の違いは、費用面ではフィリピンのほうが高く事業者側負担が大きいが、日本国内での離職率や逃げ率は圧倒的にフィリピンが低い。人材的に業務に対する勤勉さや献身性が高いことがフィリピン人材の特長ということであった。英語が公用語ということで欧米ではフィリピン人材活用が圧倒的に高い中、日本においても注目されているのがフィリピン人材といえる。</p> |

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

|                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>県 外 調 査 概 要 書</div> <div>令和 6 年 6 月 3 0 日</div> <div>会派名・議員氏名 自民改革会議 杉本 好重</div> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 目 的                                                                                   | 静岡県戦没者慰霊日「平和之碑」にて慰霊祭を行い、碑の管理状況確認と現地協力者との関係構築を図る。また、県の水産物卸売業者と提携し事業を拡大している水産品加工業者工場と来日技能実習生への日本語教育を行う語学学校を視察し県政策の充実を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 年 月 日                                                                                 | 令和 6 年 6 月 2 日～令和 6 年 6 月 5 日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 場 所                                                                                   | フィリピン（マニラ、タグロバン）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 内 容                                                                                   | <div>1 行程</div> <div>2 応対者</div> <div>3 聴取内容</div> <div>上記 1～3 に関しては、別紙「会派視察報告書」を参照。</div> <div>4 県政への反映</div> <div>太平洋戦争において激しい地上戦が繰り広げられ、多くの本県出身者が犠牲となったレイテ島にて、初めて慰霊碑に哀悼の意を捧げることができた。首都マニラから空路、さらに陸路で 1 時間という地の利の悪さは今後の課題ではあるが、祖国の地を踏まずに命を落とした英霊への鎮魂の想いは永遠に忘れるべきではない。</div> <div>水産加工所と日本語学校の視察では、市場としての日本、研修就労先としての日本を再重要視する経営者の考えを聞き、改めて本国、本県との強い繋がりを知ることとなった。特に、日本語の習得に前向きで短期間で上達する学生には、強い意志を持ち是非日本でできれば本県での就労に繋がることを期待する。大切な働き手として、彼らを支える企業と連携し県としても支援し、県施策に反映させていきたい。</div> |

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

|                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="text-align: center;">県 外 調 査 概 要 書</p> <p style="text-align: right;">令和 6 年 6 月 18 日</p> <p style="text-align: right;">会派名・議員氏名 自民改革会議・小沼秀朗</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 目 的                                                                                                                                                       | <p>昭和 60 年に建立された静岡県戦没者慰霊碑『平和之碑』を県議会英霊議連と静岡市議会議員、神道政治連盟静岡県本部、自民党静岡県連青年部・青年局の代表者で視察研修することで、静岡県「ふじのくに平和宣言」にて宣言されている「平和な姿の社会の建設に邁進すること」に向けた平和実現施策につなげていくことを目的とする。また、静岡県の水産物卸売業者と提携し、事業を拡大している水産品加工業者工場や来日技能実習生への日本語教育を行う語学学校を視察し、県の技能実習生政策の充実を図ることを目的とする。</p>                                                                                                                                                                                                                                        |
| 年 月 日                                                                                                                                                     | 2024 年 6 月 2 日(日)～6 月 5 日(水)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 場 所                                                                                                                                                       | <p>静岡県慰霊碑（レイテ島／ブラウエン）、ブルーフィン・シーフード・エクスポート株式会社、マニラ国際アカデミー株式会社</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 内 容                                                                                                                                                       | <p>1 行程 2 応対者 3 聴取内容</p> <p>上記 1～3 に関しては、別紙「自民改革会議 静岡県議会英霊にこたえる議員連盟フィリピン・レイテ島慰霊碑等視察研修報告書」を参照。</p> <p>4 県政への反映</p> <p>レイテ島では太平洋戦争で多くの本県出身者がかけがえのない命を失われ、慰霊碑「平和之碑」が建立された。静岡県「ふじのくに平和宣言」にて宣言されているように「平和な姿の社会の建設に邁進すること」に向け、静岡県の平和実現施策に向けて、戦争を風化させることなく世界平和に繋げていくよう静岡県政に反映させる。ブルーフィン・シーフード・エクスポート株式会社は、2000 年に創業したフィリピンの大手水産加工であり、輸出で大きな実績がある。静岡県の水産加工振興に反映させる。マニラ国際アカデミー株式会社は、日本語教師交換プログラム(JTEP)という日本語学学校との連携事業で急成長しており、フィリピン人の技能実習生に日本での雇用機会を与えている。介護者のための国際研修や技能実習はじめ、静岡県での労働力不足に繋げ県政に反映していく。</p> |

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

## 県 外 調 査 概 要 書

令和 6 年 6 月 5 日

会派名・議員氏名 自民改革会議 赤堀慎吾

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目 的   | 平成 18 年に、静岡県議会「英霊にこたえる議員連盟」がレイテ島ブラウエンに建立した「平和之碑」の管理状況を確認するとともに慰霊の神事を行う。また、マニラのブルーフィン・シーフード・エクスポート株式会社及びマニラ国際アカデミー株式会社の視察を行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 年 月 日 | 令和 6 年 6 月 2 日～令和 6 年 6 月 5 日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 場 所   | フィリピン（マニラ、ブラウエン）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 内 容   | <p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p>上記 1～3 に関しては、「会派視察報告書」を参照。</p> <p>4 県政への反映</p> <p>(1) 静岡県慰霊碑（ブラウエン）</p> <p>第 2 次世界大戦において、フィリピンでは多くの静岡県民が命を落とした。静岡県議会「英霊にこたえる議員連盟」は平成 18 年 1 月、レイテ島ブラウエンに「平和之碑」を建立し、戦没者の慰霊を行ってきた。今年も慰霊碑の管理状況を確認するとともに慰霊の神事を行った。悲惨な歴史を繰り返さないために、今後の平和行政の展開につなげていく。</p> <p>(2) ブルーフィン・シーフード・エクスポート株式会社（マニラ）</p> <p>ブルーフィン・シーフード・エクスポート株式会社は平成 12 年に創業したフィリピンの大手水産加工及び輸出業者である。国際市場向けにチルド、冷凍、低温殺菌、付加価値のあるシーフード製品を加工し、日本をはじめ、世界各国に輸出している。県内の水産会社とも取引があり、本県との関係強化につなげていく。</p> <p>(3) マニラ国際アカデミー株式会社（マニラ）</p> <p>マニラ国際アカデミー株式会社は、日本企業からの要請に基づき、渡日希望者に日本語教育を行い、日本に人材を派遣している。特に介護業界からの要望が多い。日本での離職率が低く、今後、派遣者は増えていくものと思われる。県内企業との関係を構築することにより本県の人材不足の解消の一助とする。</p> |

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

## 県外調査概要書

令和6年6月13日

会派名・議員氏名 自民改革会議 河原崎 全

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目 的   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和60年に建立した静岡県戦没者慰霊碑『平和之碑』を参拝するとともに、碑の管理状況を確認し、現地協力者との友好関係の構築を図る。</li> <li>・静岡県の水産物卸業者と提携し、事業を拡大している水産物加工業者工場や来日技能実習生への日本語教育を行う語学学校を視察し、本県の技能実習生施策の充実を図る。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 年 月 日 | 令和6年6月2日 ～ 令和6年6月5日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 場 所   | フィリピン（マニラ市内、レイテ島ブラウエン）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 内 容   | <p>1 行 程</p> <p>6月2日 JR掛川駅（8:08）～名古屋セントレア空港（12:15）～マニラ空港（現地時間16:35） マニラ市内（泊）</p> <p>6月3日 マニラ空港～タグロバン空港（レイテ島）～ブラウエン<br/>静岡県慰霊碑にて慰霊祭（14:30～15:30）～タグロバン空港～マニラ空港 マニラ市内（泊）</p> <p>6月4日 水産加工工場「BLUEFIN SEAFOOD EXPORT INC.」視察（9:30～11:00） 日本語学校「Manila Kokusai Academy Inc.」視察（13:30～15:00） マニラ市内（泊）</p> <p>6月5日 マニラ空港（6:05）～名古屋セントレア空港（日本時間11:15）<br/>⇒ 福島第一原子力発電所視察のため、福島県いわき市へ移動</p> <p>2 応対者 3 聴取内容</p> <p>2～3に関しては、別添視察研修報告書を参照</p> <p>4 県政への反映</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの本県兵士が尊い命を失ったレイテ島の静岡県戦没者慰霊碑を参拝、英霊を弔い、不戦への誓いを新たにするとともに、碑の管理を依頼している現地協力者との友好関係の構築を図ることができた。戦争のない社会を創出する活動を一層拡大していきたい。</li> <li>・静岡県の水産物卸業者と提携し、本県に輸出を拡大している水産物加工工場において、大変厳しい衛生管理のもとでタコ・イカの加工作業を行っている状況を視察した。また、介護や宿泊施設等の分野で活躍する来日技能実習生に日本語教育を行う語学学校を視察した。グローバルな動き中で、食材や労働力が本県に提供されていることを実感できた。食</li> </ul> |

様式第2号

|  |                                                     |
|--|-----------------------------------------------------|
|  | 糧問題や労働者不足問題を考える上で、今回の視察で得た知見を県の施策に活かしていけるようにしていきたい。 |
|--|-----------------------------------------------------|

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

|                      |                                                                         |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 県 外 調 査 概 要 書        |                                                                         |
| 令和 6 年 6 月 30 日      |                                                                         |
| 会派名・議員氏名 自民改革会議 伊藤謙一 |                                                                         |
| 目 的                  | 会派フィリピン視察                                                               |
| 年 月 日                | 令和 6 年 6 月 2 日～5 日                                                      |
| 場 所                  | フィリピン（マニラ・レイテ島）                                                         |
| 内 容                  | 1 行程<br><br>2 応対者 1～3 については、会派報告書参照<br><br>3 聴取内容<br><br>4 県政への反映<br>別紙 |

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

## 県政への反映

伊藤謙一

フィリピン レイテ島を訪れて、先の大戦で亡くなった 12,000 人もの静岡県民の御霊を祀った慰霊碑に対して平和を祈ると共に慰霊祭に参加をして参りました。昨今のウクライナ侵攻や中東情勢を考えると、日本の平和行政は重要な局面にある危機感をもっと持つべきだと思います。地方議員としては、二度と戦争という惨事を繰り返さないよう平和行政の大切さを周知すると共に、普段からの諸外国との地域外交に力を入れていくべきだと思います。また、現地を見る中で日本が経済大国である豊かさの素晴らしさを改めて感じる事ができました。またその一方で、日本とフィリピンの物価にそれほど差がない部分に今後の日本への課題と危機感を感じました。

フィリピン マニラにある水産加工会社を訪れました。最も、気になった点は現地経営者の年齢の若さです。平均寿命が約 60 歳のフィリピンにおいて、日々のスピード感や 1 日、1 日をより大切にしていこう姿勢を日本人より高いと感じました。また、円安による事業の影響、海外水産物が諸外国に日本が買い負けている現状、ハサップ等の国際的な食料管理基準等、今後静岡県が世界で勝負していく為には課題と感じる部分が非常に多いと感じました。

同じくマニラのフィリピン人向けの日本語学校に伺いました。現地を視察し、国際的な視点の中で、マーケットにおける日本の現在地を知る事ができてとても良かったです。また、各国の技能実習生の特性や奨学金制度の違い等を知る事ができ、今後の県政における提案に活かして参りたいと思います。